

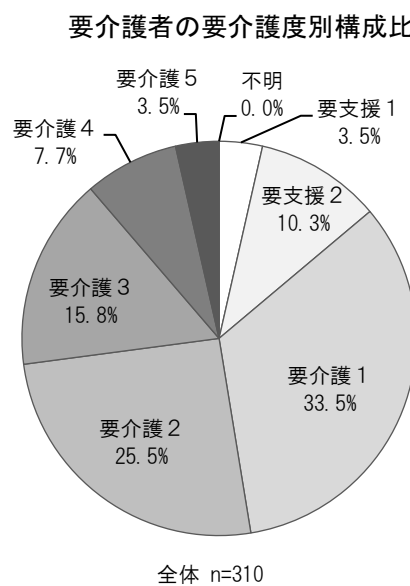
第3章 在宅介護実態調査結果

今回のアンケート調査は、認定調査員による聞き取り調査にて、認定更新時の訪問調査の際に実施したものであり、以下調査結果の分析では、要介護認定から要支援認定となった方が含まれています。

1 ご本人（要介護者）の状況について

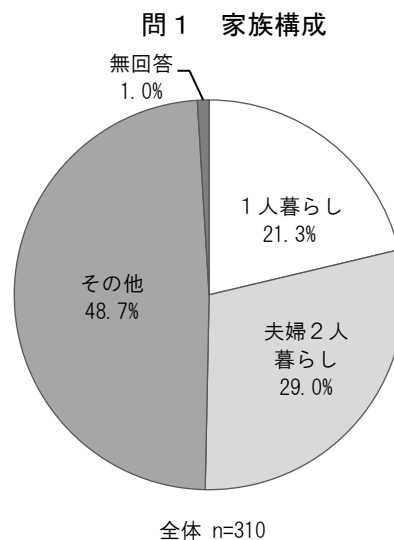
(1) 要介護者の要介護度

○要介護者の要介護度をみると、「要介護1」（33.5%）が最も高く、次いで「要介護2」（25.5%）、「要介護3」（15.8%）の順となっています。



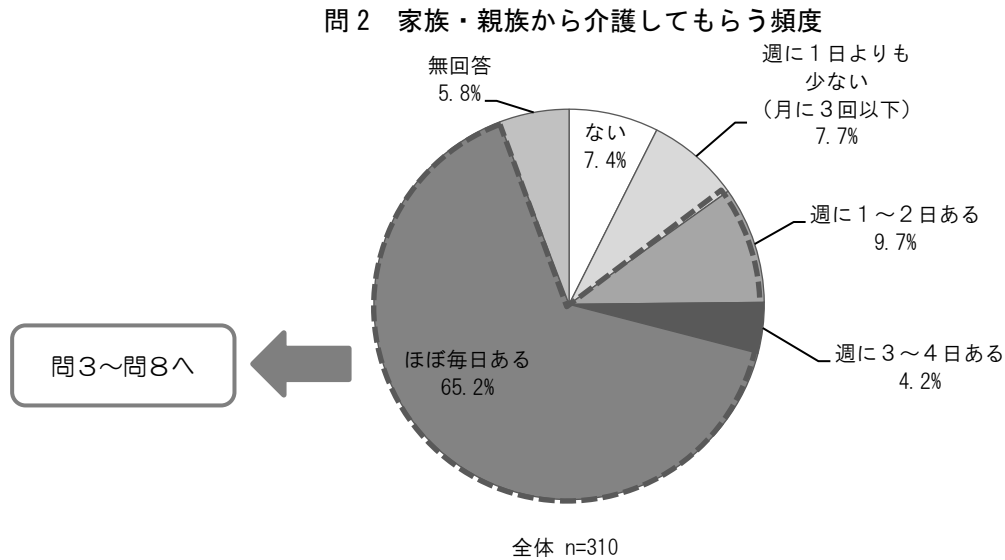
(2) 要介護者の家族構成

○要介護者の家族構成をみると、「その他」（48.7%）が最も高く、次いで「夫婦2人暮らし」（29.0%）、「1人暮らし」（21.3%）となっています。

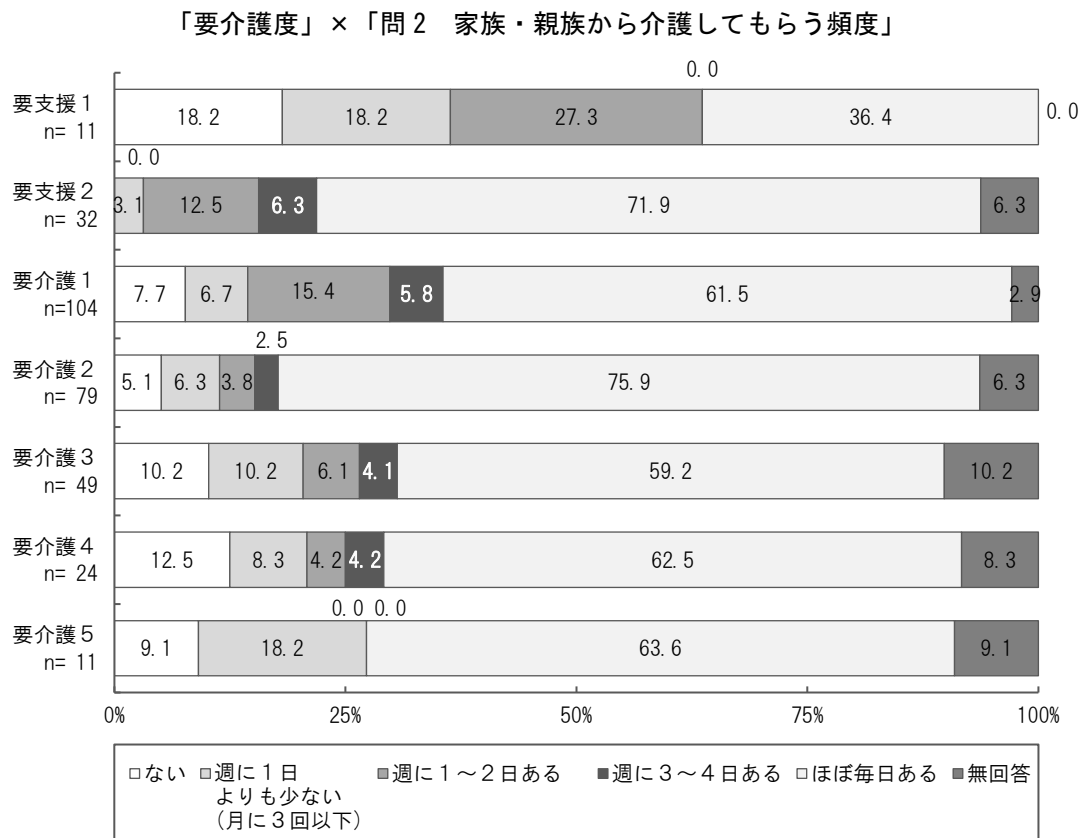


(3) 家族・親族による介護の頻度

○家族・親族から介護してもらう頻度をみると、「ほぼ毎日ある」(65.2%)が最も高く、次いで「週に1～2日ある」(9.7%)、「週に1日よりも少ない(月に3回以下)」(7.7%)、「ない」(7.4%)の順となっています。

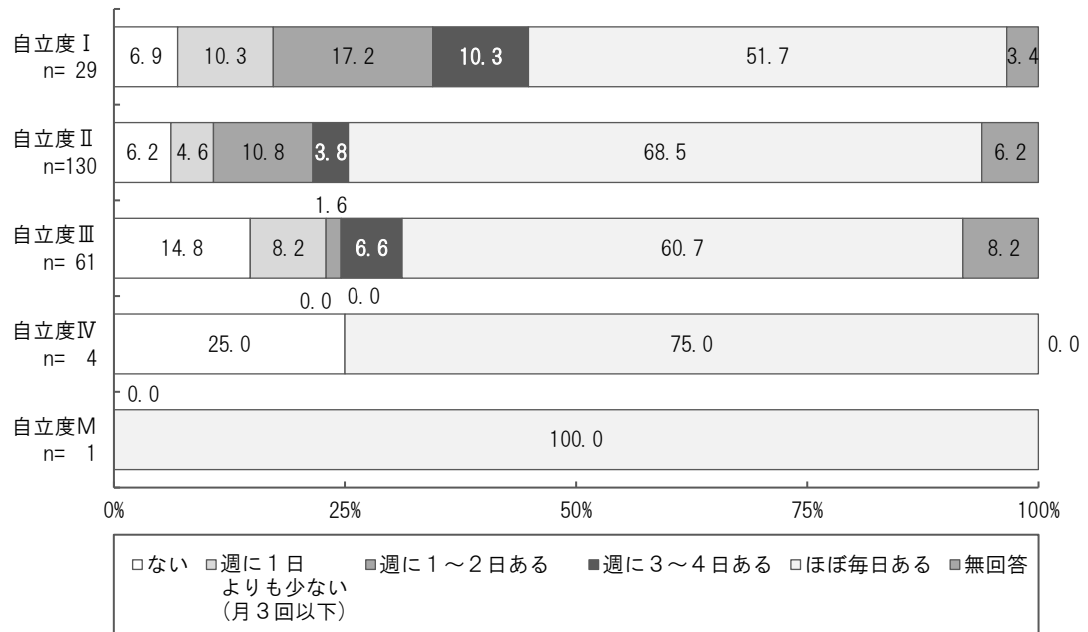


○要介護度別にみた家族・親族から介護してもらう頻度をみると、全ての要介護度で「ほぼ毎日ある」(36.4～75.9%)が最も高くなっています。要介護3以上では要介護度が上がるにつれて「週に1～2日ある」「週に3～4日ある」の割合が減少し、「ほぼ毎日ある」の割合が増加しています。



○認知症高齢者日常生活自立度[※]別にみた家族・親族から介護してもらう頻度をみると、自立度Ⅰ～Ⅲにおいて「ほぼ毎日ある」(51.7～68.5%)が最も高くなっています。

「認知症高齢者日常生活自立度」×「問2 家族・親族から介護してもらう頻度」



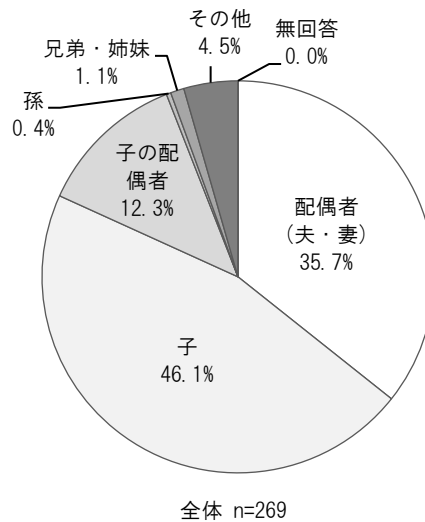
※認知症高齢者日常生活自立度とは、高齢者の方の認知症の程度を日常生活の自立度から簡易的に判断する評価方法で、「Ⅰ」「Ⅱ」「Ⅱa」「Ⅱb」「Ⅲ」「Ⅲa」「Ⅲb」「Ⅳ」「Ⅴ」「Ⅵ」の9段階のランクからなります。要介護認定では認定調査や主治医意見書にてこの指標が用いられており、審査判定の際の参考として利用されています。なお、上記グラフでは「Ⅱa」「Ⅱb」は「Ⅱ」に、「Ⅲa」「Ⅲb」は「Ⅲ」に集約し記載しています。また、各ランクの判定基準は資料編(172頁)を参照。

2 主な介護者等の状況（属性等）について

（1）主な介護者の状況

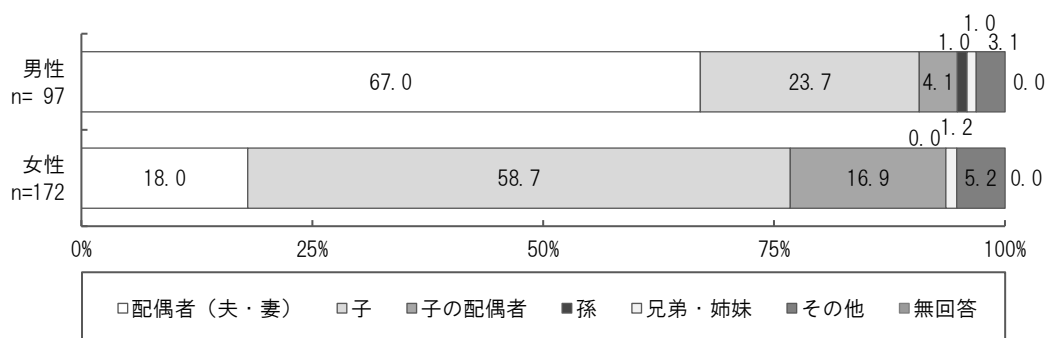
○要介護者からみた主な介護者をみると、「子」(46.1%)が最も多く、次いで「配偶者(夫・妻)」(35.7%)、「子の配偶者」(12.3%)の順となっています。

問3 要介護者からみた主な介護者



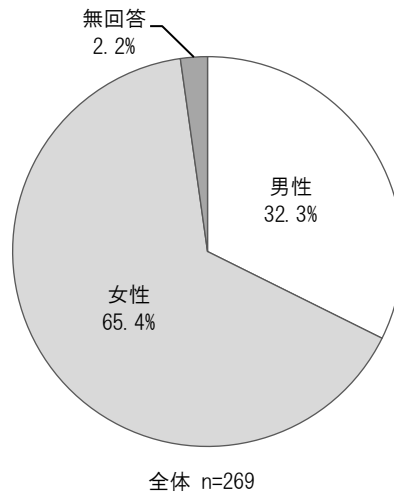
○要介護者の性別ごとにみた主な介護者でみると、男性は「配偶者(夫・妻)」(67.0%)が最も多く、次いで「子」(23.7%)、「子の配偶者」(4.1%)の順となり、女性は「子」(58.7%)が最も多く、次いで「配偶者(夫・妻)」(18.0%)、「子の配偶者」(16.9%)の順となっています。

「要介護者からみた主な介護者」×「要介護者の性別」



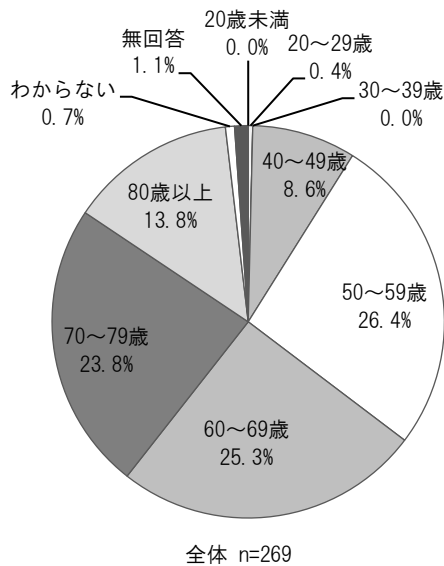
○主な介護者の性別をみると、「女性」(65.4%)、「男性」(32.3%) となっています。

問4 主な介護者の性別



○主な介護者の年齢をみると、「50～59歳」(26.4%) が最も多く、次いで「60～69歳」(25.3%)、「70～79歳」(23.8%)、「80歳以上」(13.8%) の順となっています。

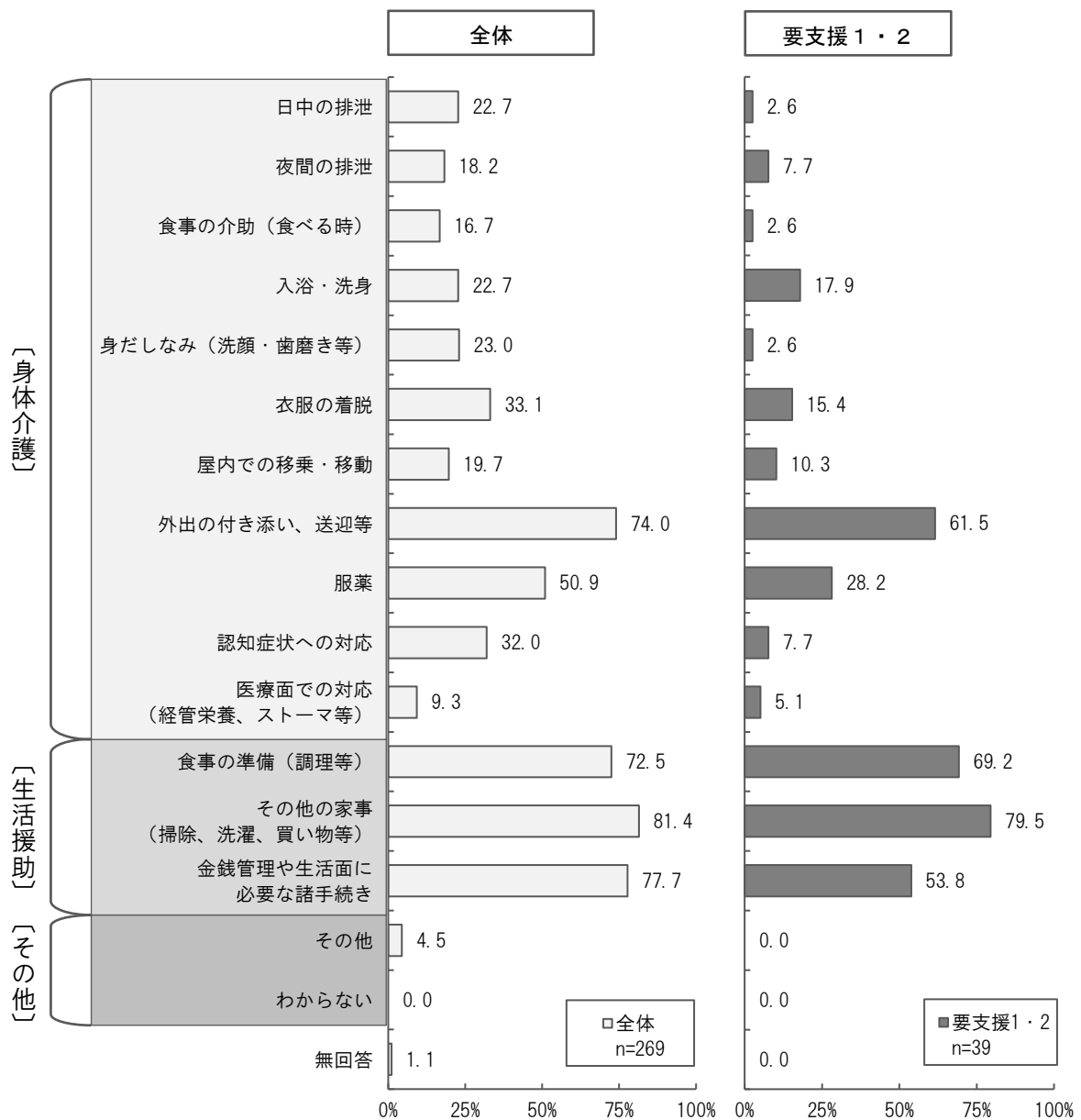
問5 主な介護者の年齢



(2) 主な介護者の介護実態

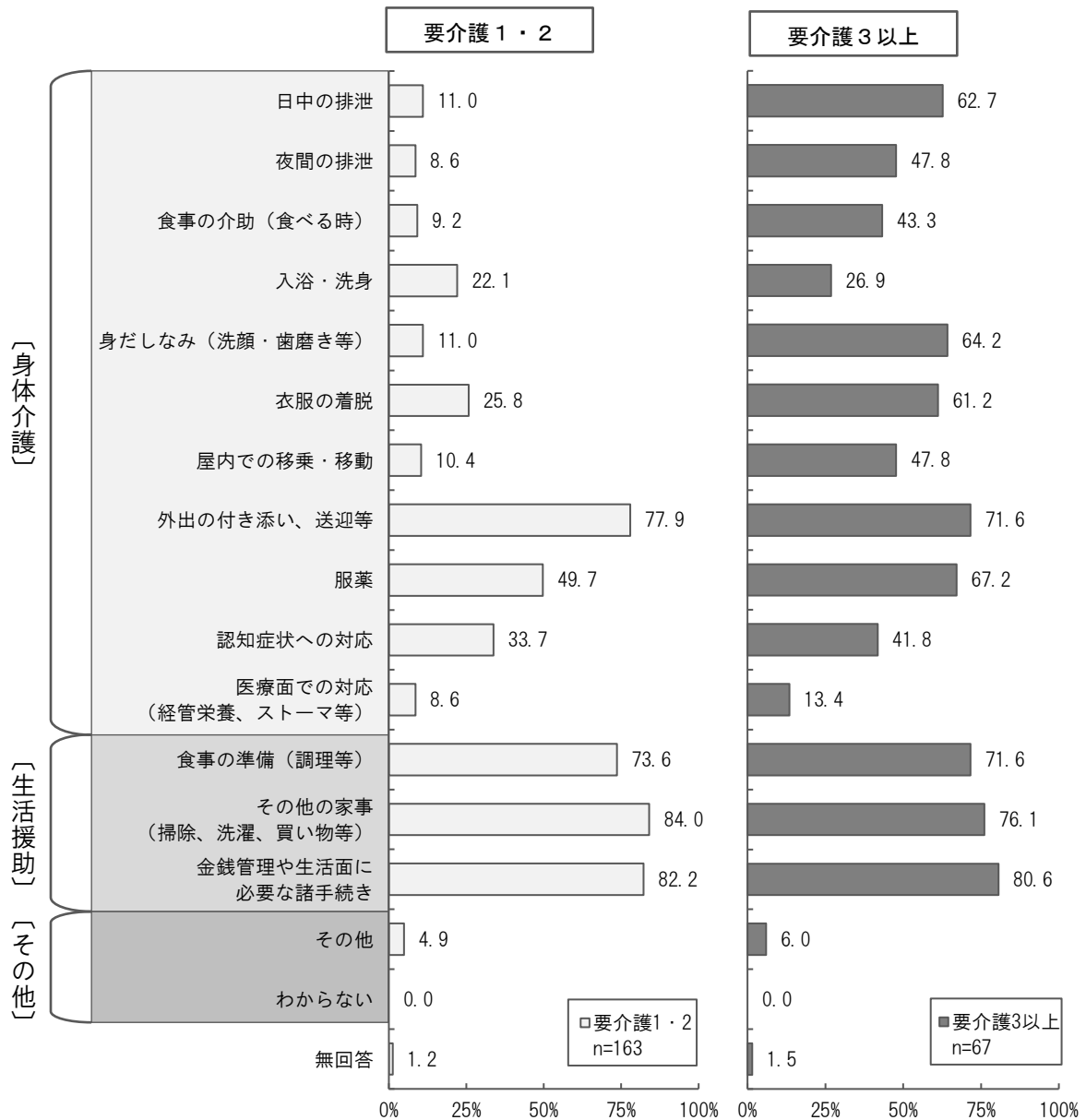
- 主な介護者の行っている介護のうち身体介護をみると、『全体』では「外出の付き添い、送迎等」(74.0%)が最も高く、次いで「服薬」(50.9%)、「衣服の着脱」(33.1%)、「認知症状への対応」(32.0%)の順となっています。
- 生活援助をみると、『全体』では「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(81.4%)が最も高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(77.7%)、「食事の準備(調理等)」(72.5%)の順となっています。
- 『要支援1・2』でも身体介護のうち「外出の付き添い、送迎等」(61.5%)が最も高く、生活援助では「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(79.5%)が最も高く、次いで「食事の準備(調理等)」(69.2%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(53.8%)の順となっています。

問6 主な介護者の行っている介護



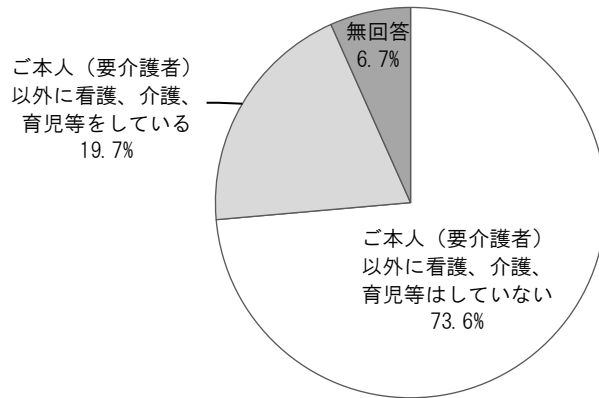
○「要介護1・2」「要介護3以上」ともに身体介護では「外出の付き添い、送迎等」(77.9%・71.6%)が最も多く、次いで「服薬」(49.7%・67.2%)が高くなっています。「要介護3以上」では他に「身だしなみ(洗顔・歯磨き等)」(64.2%)、「日中の排泄」(62.7%)、「衣類の着脱」(61.2%)などが高くなっています。

○「要介護1・2」の生活援助は、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(84.0%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(82.2%)などが高く、要介護3以上は、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(80.6%)、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(76.1%)の順で高くなっています。



○主な介護者が要介護者以外に主として介護等を行っているかをみると、「ご本人（要介護者）の介護以外に看護、介護、育児等をしている」方は19.7%います。

問7 主な介護者が要介護者以外に主として介護等を行っている人の有無

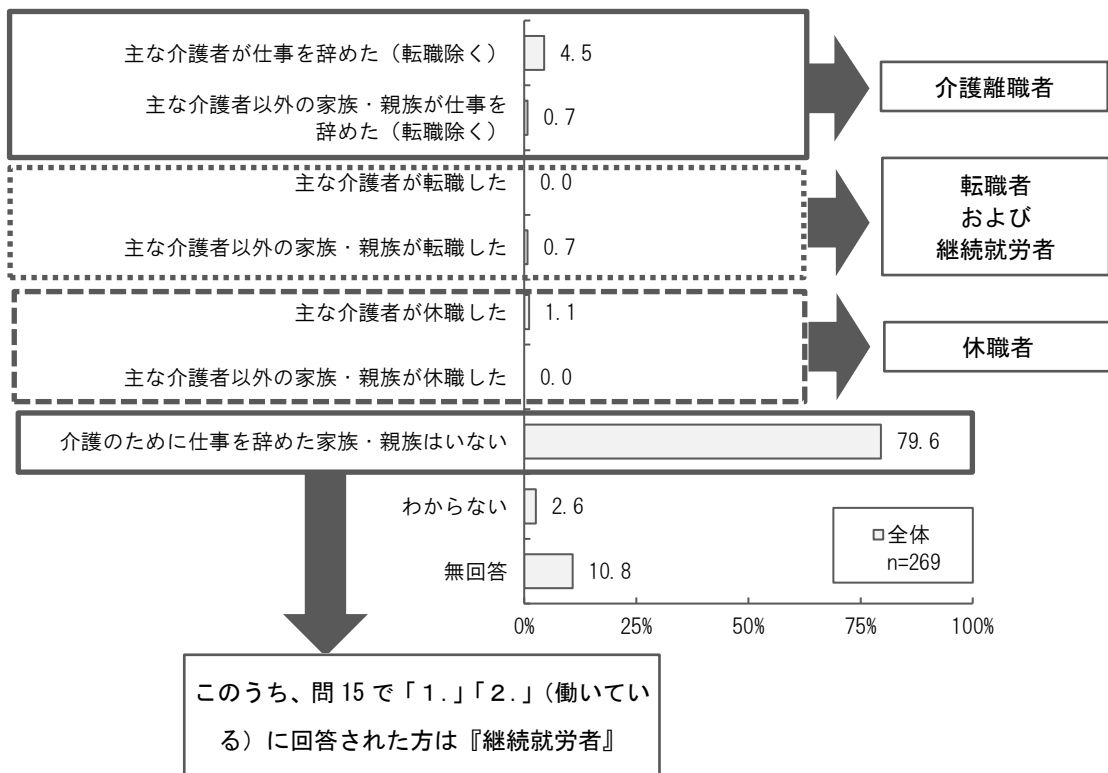


全体 n=269

(3) 家族・親族が介護のために離職した状況

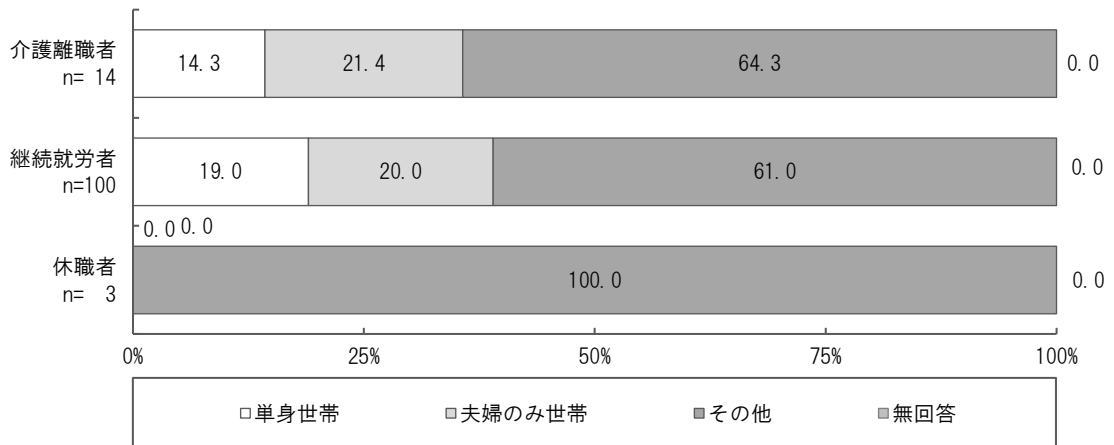
○家族・親族が介護を理由に退職・転職したのかをみると、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」（4.5%）、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」（0.7%）という結果となっています。また、0.7%が「転職」しています。

問8 家族・親族が介護を理由に退職・転職したことの有無



○介護離職者の家族構成は、「その他」(64.3%)、「夫婦のみ世帯」(21.4%)、「単身世帯」(14.3%)となっており、継続就労者と比べて「その他」が多い状況です。

「介護離職者・継続就労者・休職者別」×「問1 家族構成」



※継続就労者：問8で「転職した」と回答（「3.」「4.」を選択）した方、「5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答し、問15で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方の計。

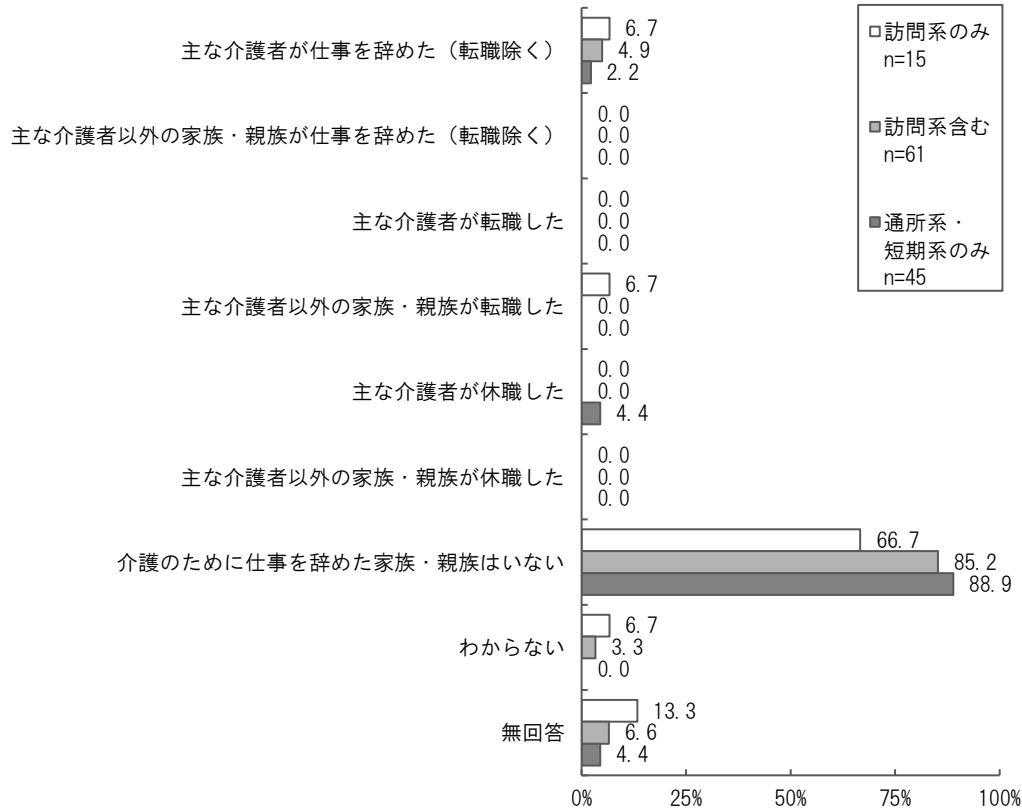
○要介護度別にみた家族・親族が介護を理由に退職・転職したことの有無をみると、全ての要介護度で「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」(66.7~86.7%)が最も高くなっています。要支援1・2、要介護1では次いで「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」(4.3~11.1%)となっています。

「要介護度」×「問8 家族・親族が介護を理由に退職・転職したことの有無」

	主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	主な介護者が休職した	主な介護者以外の家族・親族が休職した	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない	無回答
要支援1 n=9	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	66.7	0.0	11.1
要支援2 n=30	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	86.7	0.0	3.3
要介護1 n=93	4.3	0.0	0.0	1.1	1.1	0.0	81.7	1.1	10.8
要介護2 n=70	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	82.9	1.4	12.9
要介護3 n=39	2.6	2.6	0.0	0.0	5.1	0.0	71.8	10.3	7.7
要介護4 n=19	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	73.7	5.3	10.5
要介護5 n=9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3

○サービス利用状況別にみた家族・親族が介護を理由に退職・転職したことの有無をみると、「訪問系のみ」利用は、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」、「主な介護者以外の家族・親族が転職した」（各6.7%）となっており、利用状況全体では、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が最も高くなっています。

「サービス利用状況」×「問8 家族・親族が介護を理由に退職・転職したことの有無」



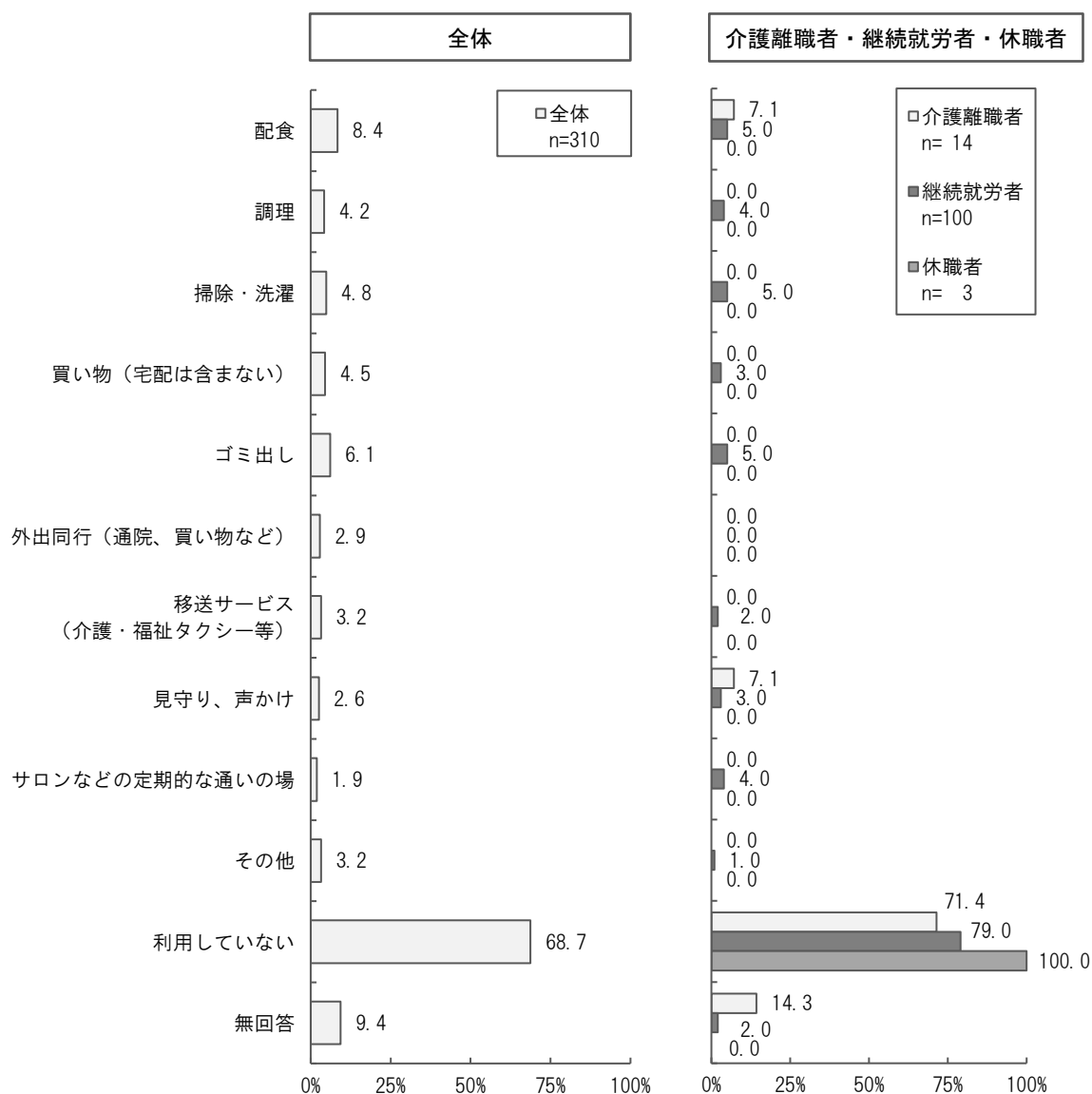
3 支援・サービス・訪問診療の利用状況やニーズについて

(1) 在宅生活を続けていくための必要な支援・サービス

○介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況をみると、全体では「配食」(8.4%)、「ゴミ出し」(6.1%)などが他に比べて高い一方で、「利用していない」方は68.7%となっています。

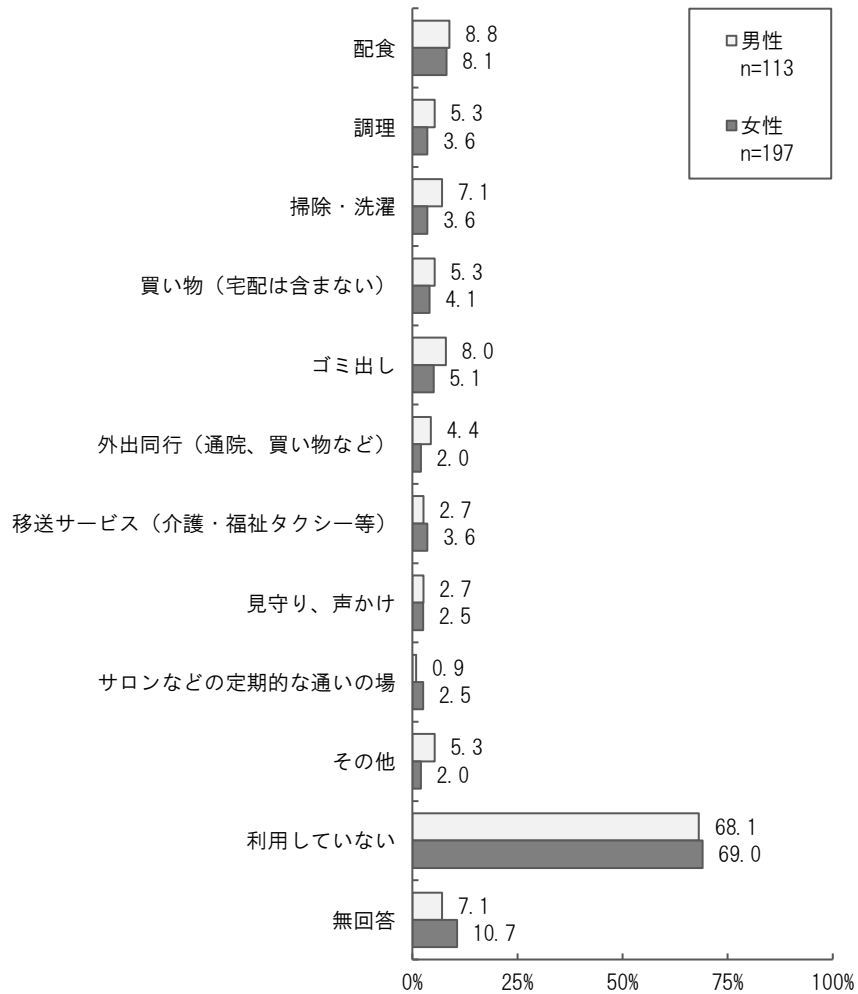
○介護離職者・継続就労者・休職者の比較は以下のとおりです。

問9 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況



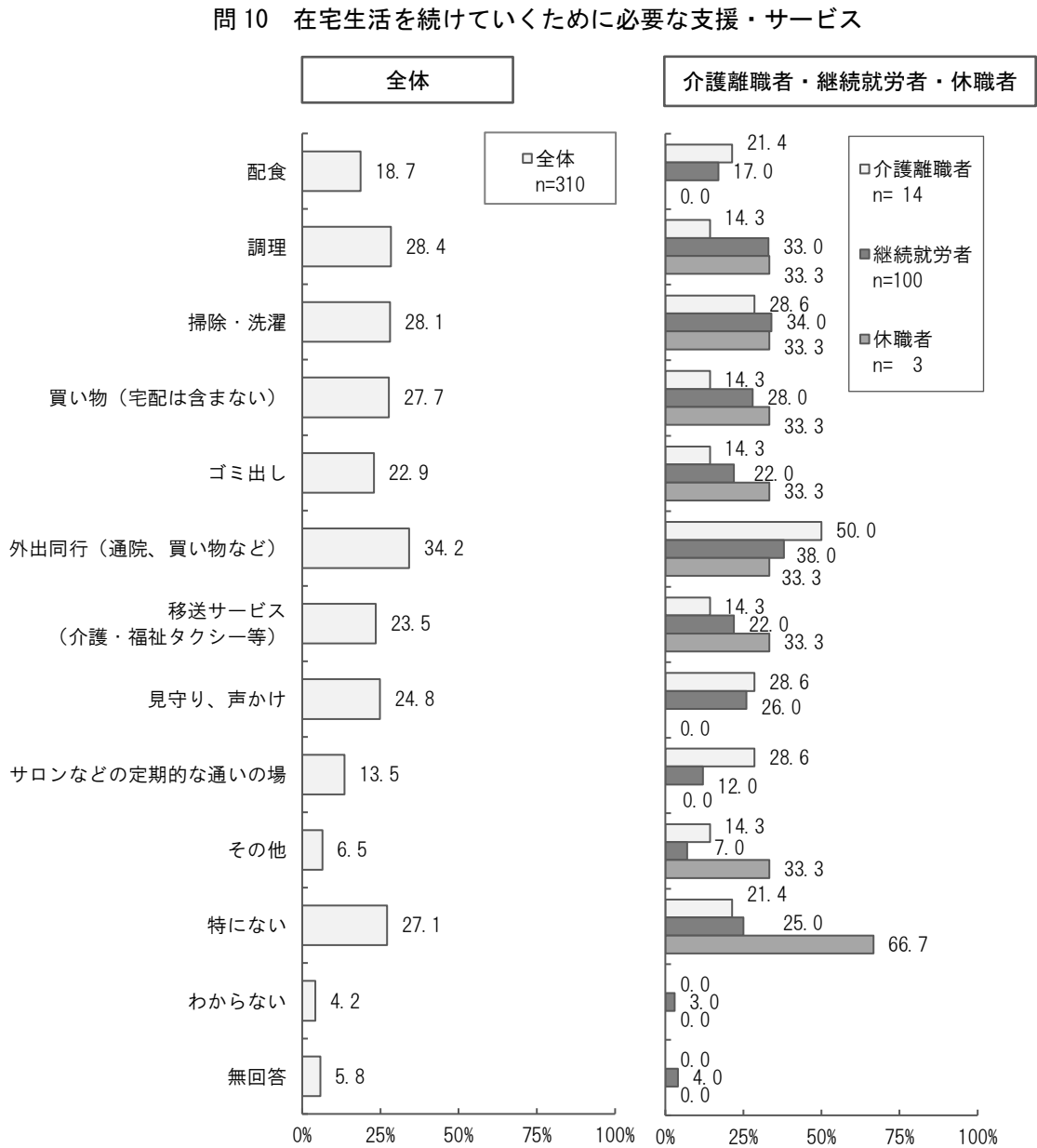
○介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況を要介護者の性別でみると、以下のとおりです。

「介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況」×「要介護者の性別」



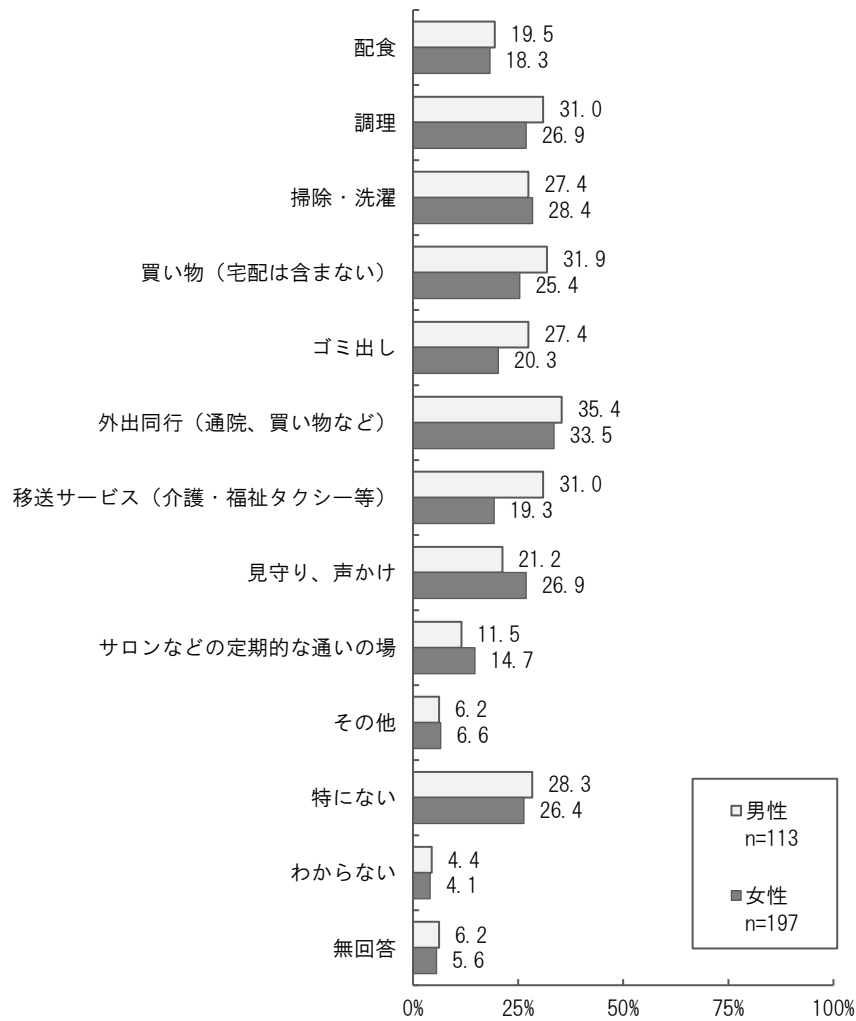
○在宅生活を続けていくために必要な支援・サービスの意向をみると、全体では「外出同行（通院、買い物など）」（34.2%）が最も高く、次いで「調理」（28.4%）、「掃除・洗濯」（28.1%）、「買い物（宅配は含まない）」（27.7%）の順となっています。

○介護離職者では、「外出同行（通院、買い物など）」（50.0%）が最も高く、次いで「掃除・洗濯」「見守り、声掛け」「サロンなどの定期的な通いの場」（各28.6%）となっています。継続就労者・休職者の結果は以下のとおりです。



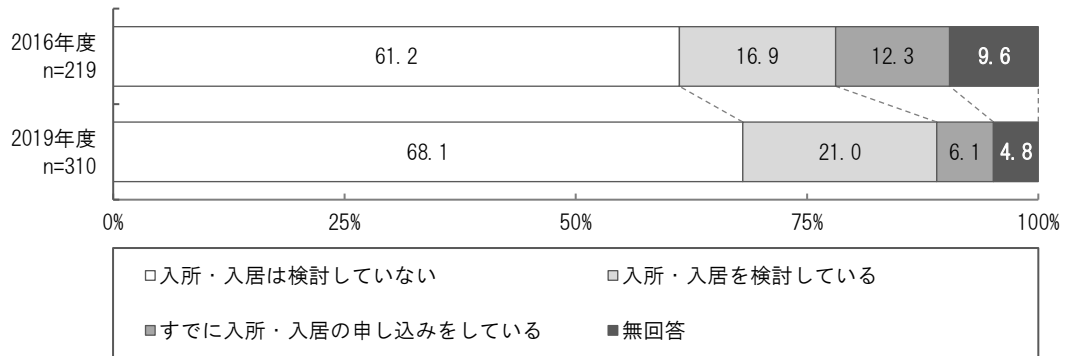
○在宅生活を続けていくために必要な支援・サービスを要介護者の性別でみると、男性では女性に比べて「買い物（宅配は含まない）」(+6.5ポイント)、「ゴミ出し」(+7.1ポイント)、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」(+11.7ポイント)などが6.5ポイント以上高くなっています。女性では男性に比べて「見守り、声かけ」(+5.7ポイント)、「サロンなどの定期的な通いの場」(+3.2ポイント)、「掃除、洗濯」(+1.0ポイント)が高くなっており、その他の項目では男性の方が高くなっています。

「在宅生活を続けていくために必要な支援・サービス」×「要介護者の性別」



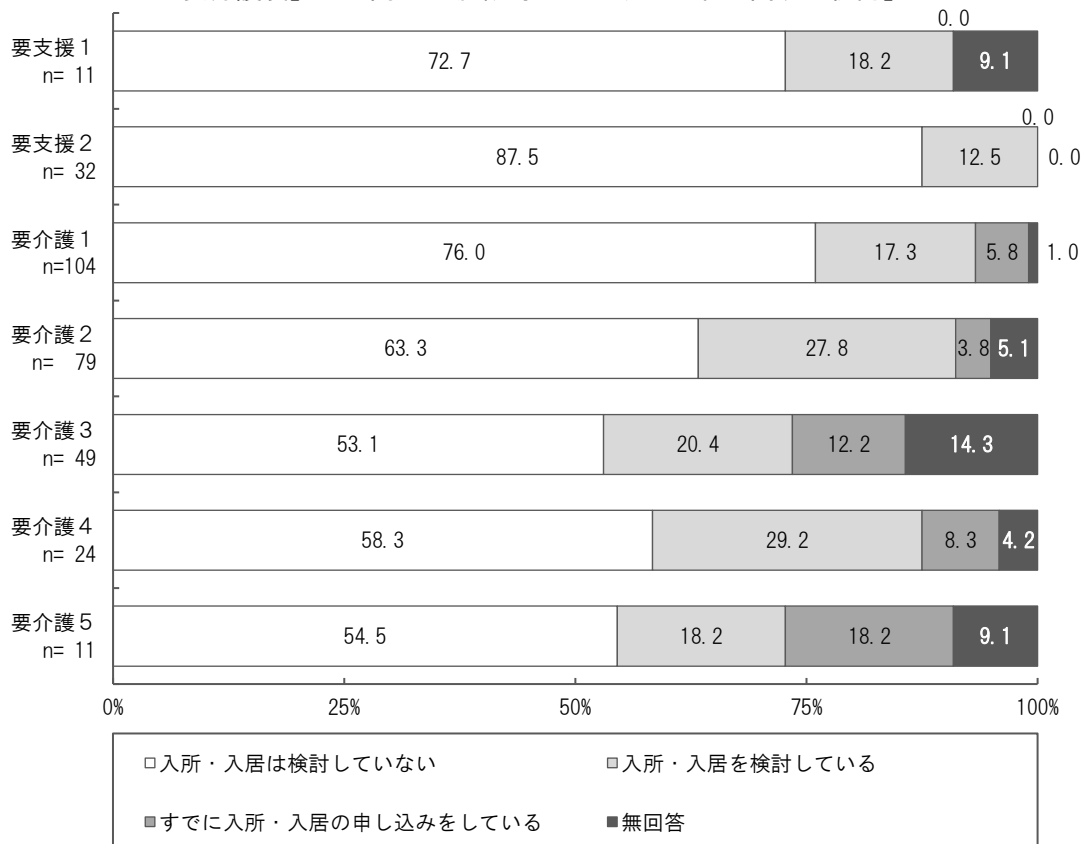
○施設等への入所・入居に関する検討状況をみると、「入所・入居を検討している」(21.0%)と「すでに入所・入居の申し込みをしている」(6.1%)を合わせた27.1%が入所・入居予定または検討中となっています。また、前回調査と比較すると、「入所・入居を検討している」が4.1^{ポイント}高くなっている一方で、「すでに入所・入居の申し込みをしている」は6.2^{ポイント}低くなっています。

問 11 施設等への入所・入居に関する検討（経年比較）



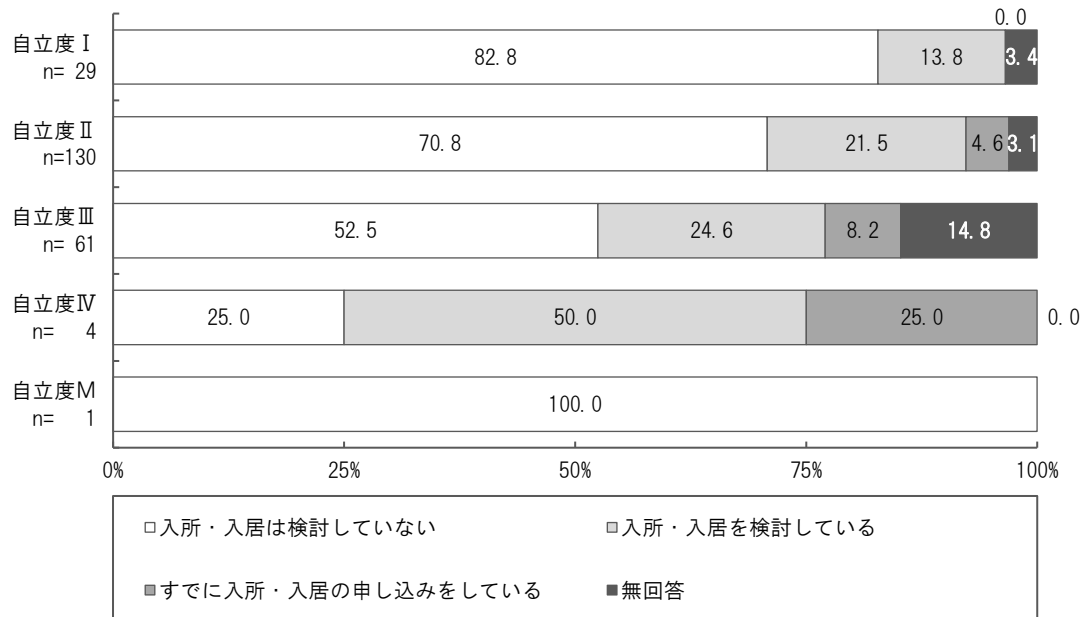
○要介護度別の検討状況をみると、要介護2以上で「入所・入居を検討している」(18.2~29.2%)と「すでに入所・入居の申し込みをしている」(3.8~18.2%)を合わせた3割以上が「入所・入居予定」または「検討中」となっています。

「要介護度」×「問 11 施設等への入所・入居に関する検討」



○認知症高齢者日常生活自立度[※]別に施設等への入所・入居に関する検討状況をみると、自立度Ⅱでは「すでに入所・入居の申し込みをしている」は4.6%となっています。

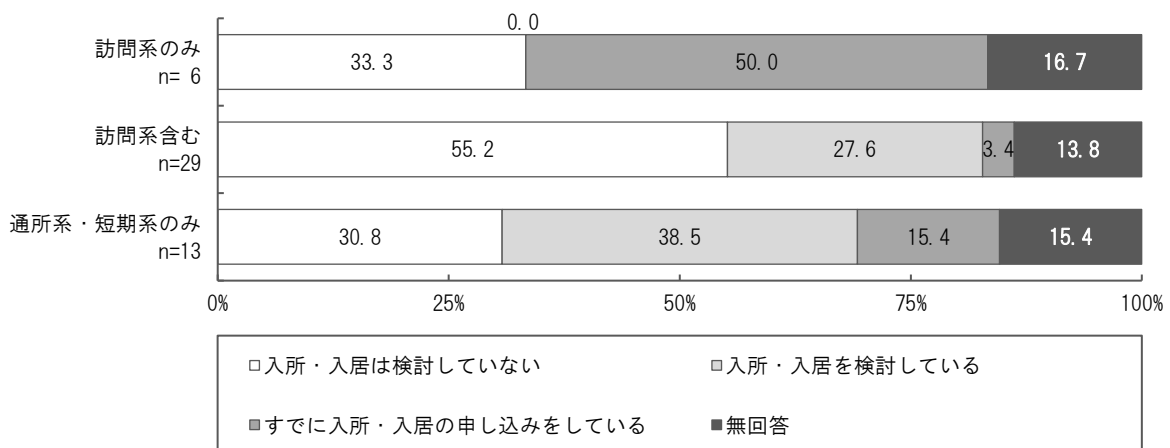
「認知症高齢者日常生活自立度」×「問11 施設等への入所・入居に関する検討」



※認知症高齢者日常生活自立度とは、高齢者の方の認知症の程度を日常生活の自立度から簡易的に判断する評価方法で、「Ⅰ」「Ⅱ」「Ⅱa」「Ⅱb」「Ⅲ」「Ⅲa」「Ⅲb」「Ⅳ」「Ⅴ」の9段階のランクからなります。要介護認定では認定調査や主治医意見書にてこの指標が用いられており、審査判定の際の参考として利用されています。なお、上記グラフでは「Ⅱa」「Ⅱb」は「Ⅱ」に、「Ⅲa」「Ⅲb」は「Ⅲ」に集約し記載しています。また、各ランクの判定基準は資料編（172頁）を参照。

○サービス利用別にみた施設等への入所・入居の検討状況をみると、「入所・入居を検討している」および「すでに入所・入居の申し込みをしている」は、「訪問系のみ利用」(50.0%)、「訪問系含む利用」(31.0%)、「通所系・短期系のみ利用」(53.9%)となっています。

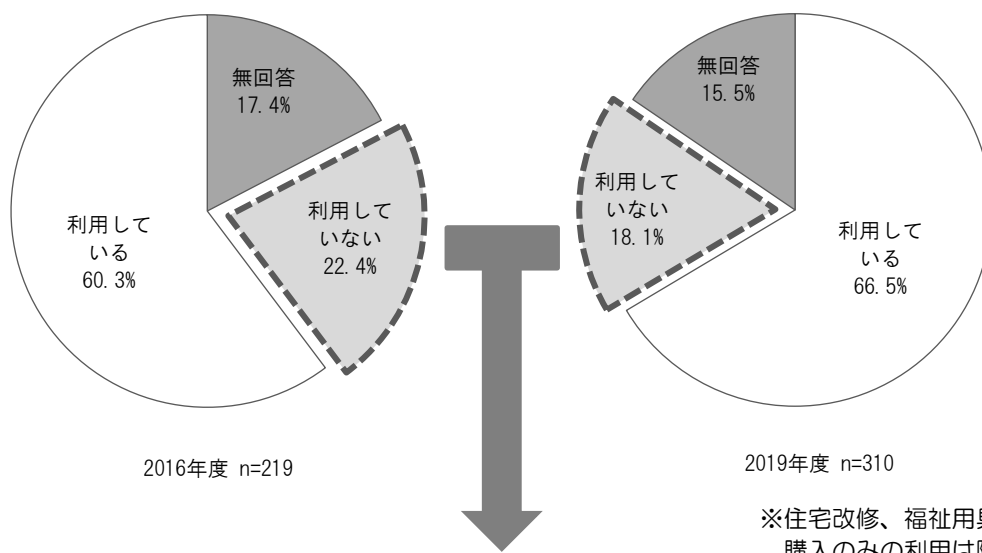
「サービス利用状況」×「問11 施設等への入所・入居に関する検討」(要介護度3以上)



(2) 介護保険サービスの利用状況

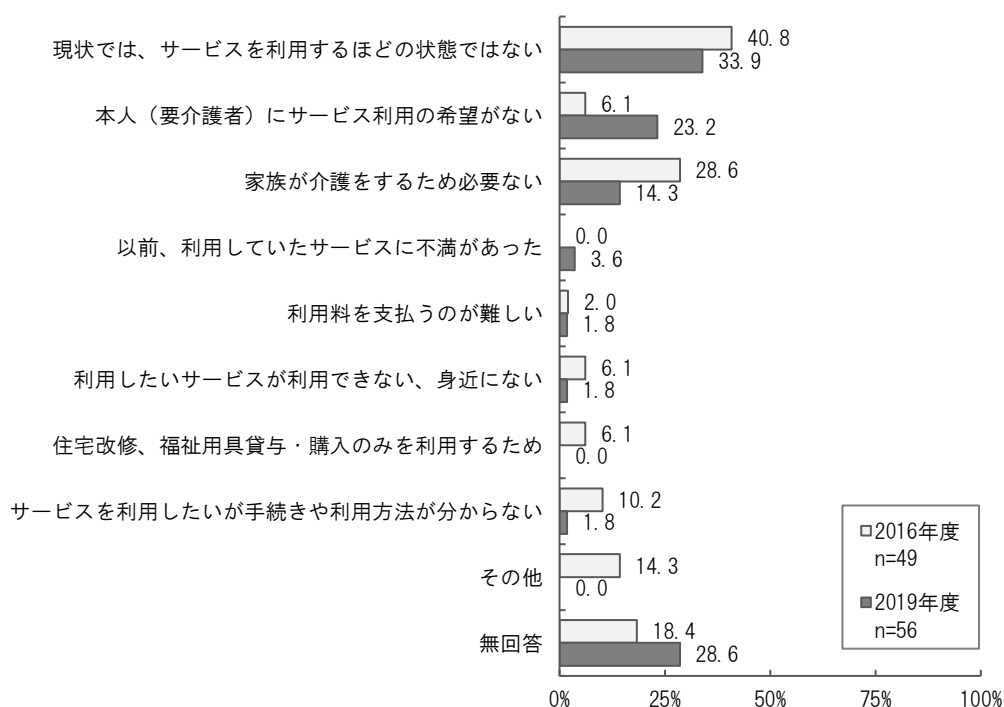
○介護保険サービスの利用の状況をみると、「利用している」(66.5%)、「利用していない」(18.1%)となっています。また、前回調査と比較すると、「利用している」方の割合は前回よりも6.2^{ポイント}高くなっています。

問 14 介護保険サービスの利用の有無（経年比較）



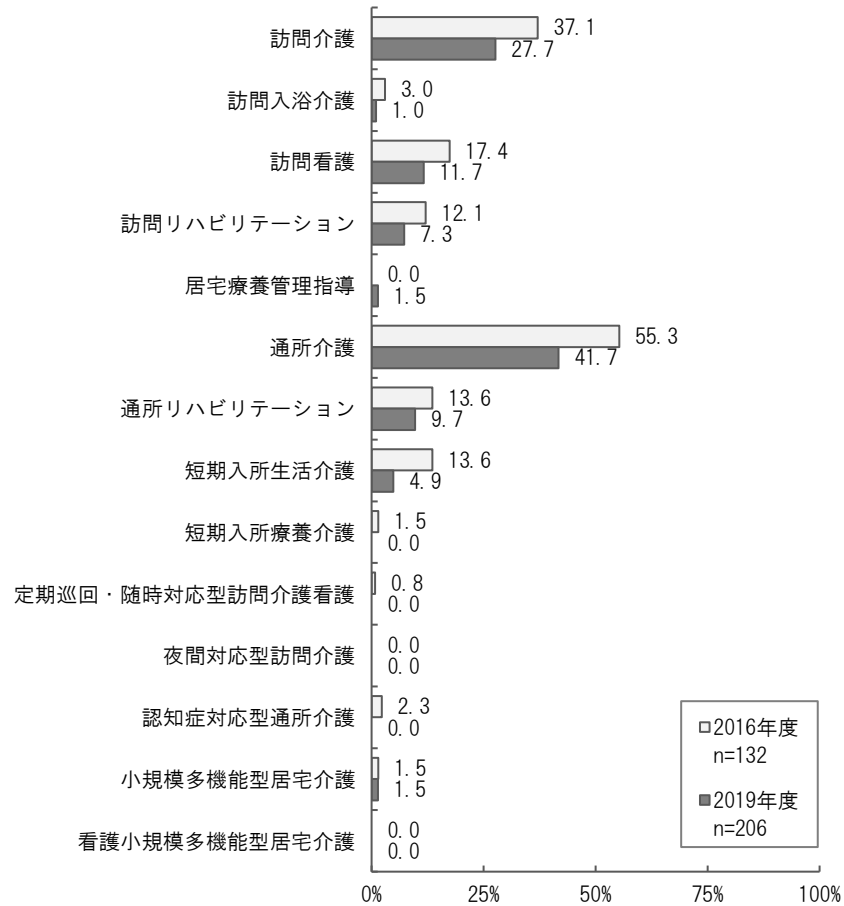
○介護保険サービスを「利用していない」理由をみると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(33.9%)が最も高く、次いで「本人（要介護者）にサービス利用の希望がない」(23.2%)、「家族が介護をするため必要ない」(14.3%)の順となっています。また、前回調査と比較し、10.0^{ポイント}以上の差がある理由は、「本人（要介護者）にサービス利用の希望がない」で、前回調査よりも17.1^{ポイント}高く、「家族が介護をするため必要ない」で、前回調査よりも14.3^{ポイント}低くなっています。

問 14-1 介護保険サービスを利用していない理由（経年比較）



○介護保険サービスの利用状況を見ると、前回調査と同様に「通所介護」(41.7%)が最も高く、次いで「訪問介護」(27.7%)、「訪問看護」(11.7%)、「通所リハビリテーション」(9.7%)の順となっています。

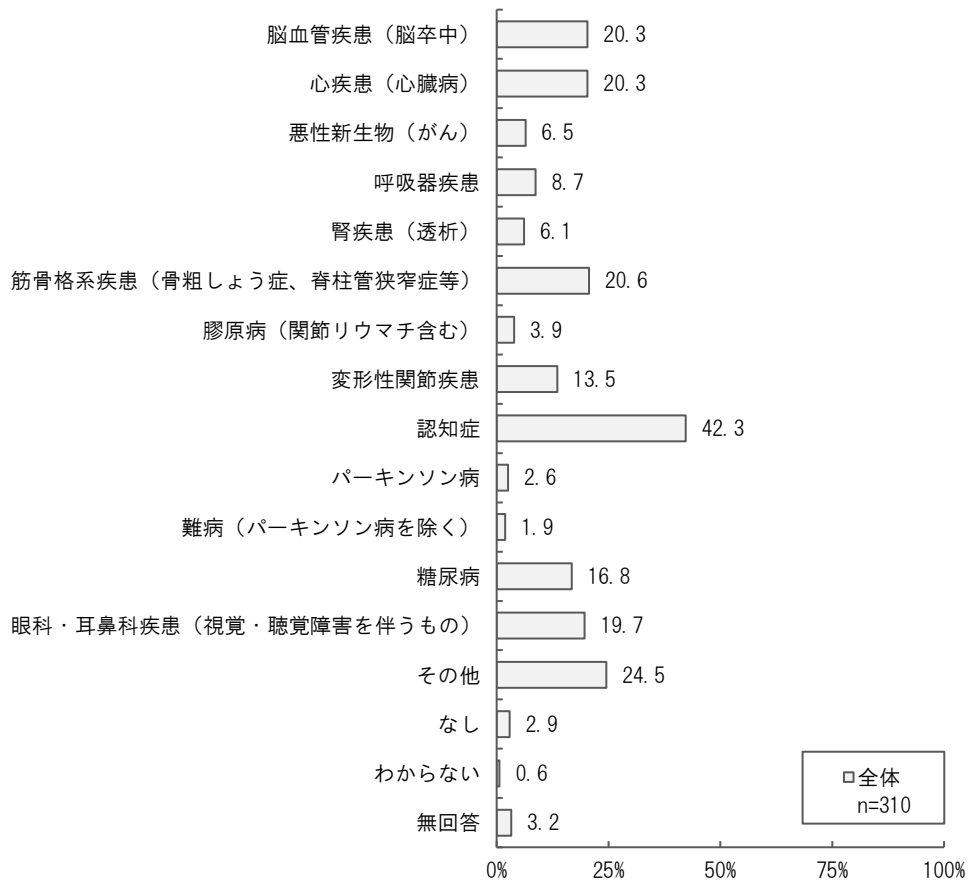
介護保険サービスの利用状況（経年比較）



(3) 抱えている傷病と訪問診療の利用状況

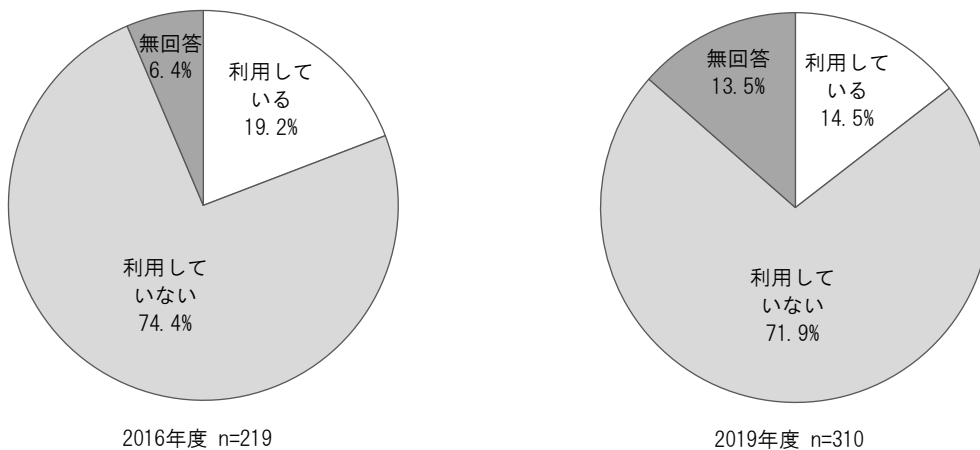
○要介護者が現在抱えている傷病をみると、「認知症」(42.3%)が最も高く、次いで「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」(20.6%)、「脳血管疾患(脳卒中)」「心疾患(心臓病)」(各20.3%)、「眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)」(19.7%)の順となっています。

問12 要介護者が現在抱えている傷病名



○訪問診療の利用状況をみると、「利用している」(14.5%)となっています。また、前回調査からの変化はあまりみられません。

問13 訪問診療の利用の有無(経年比較)

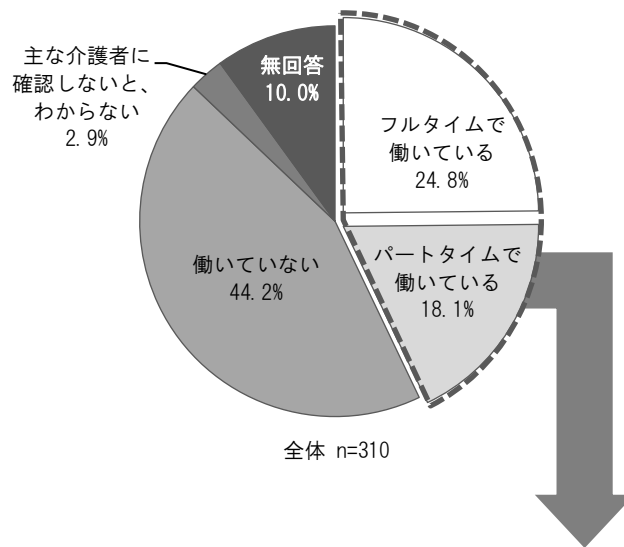


4 主な介護者の就労状況について

(1) 主な介護者の勤務形態

○主な介護者の現在の勤務形態をみると、「フルタイムで働いている」(24.8%)と「パートタイムで働いている」(18.1%)を合わせた就労している方は42.9%います。一方、「働いていない」方は44.2%います。

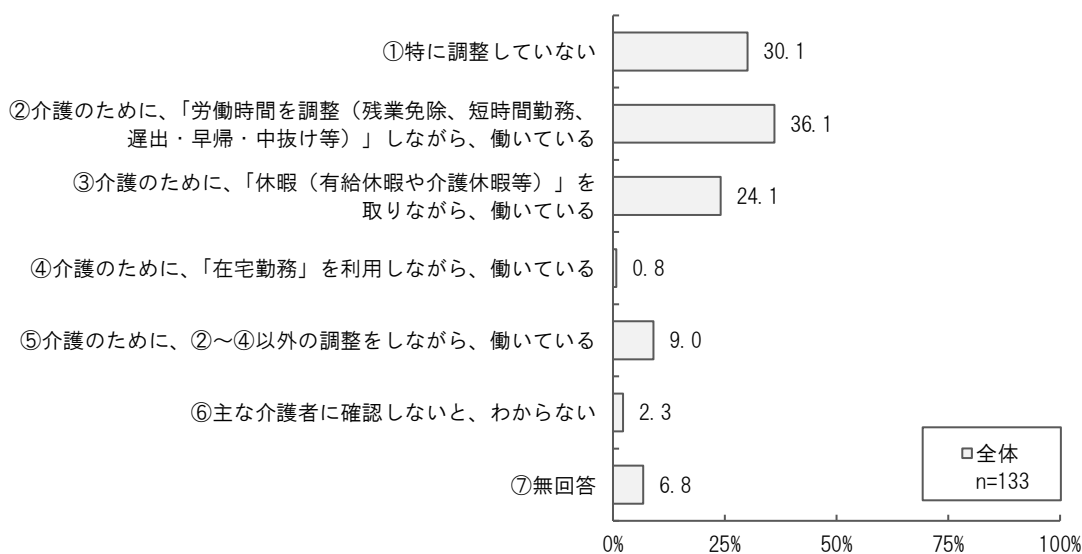
問 15 主な介護者の現在の勤務形態



(2) 継続就労者（フルタイム・パートタイム）の就労実態と意向

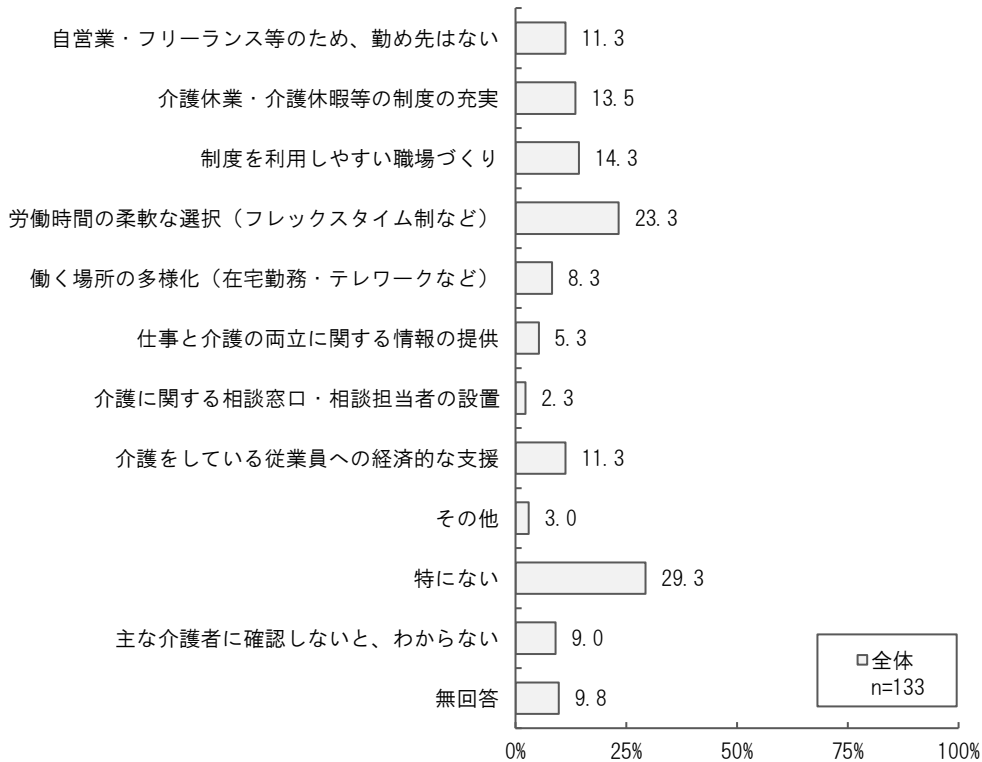
○介護のために働き方を調整しているかをみると、「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」(36.1%)が最も高く、次いで「特に調整していない」(30.1%)、「介護のために、『休暇（有給休暇や介護休暇等）』を取りながら、働いている」(24.1%)の順となっています。

問 15-1 働き方を調整しているか



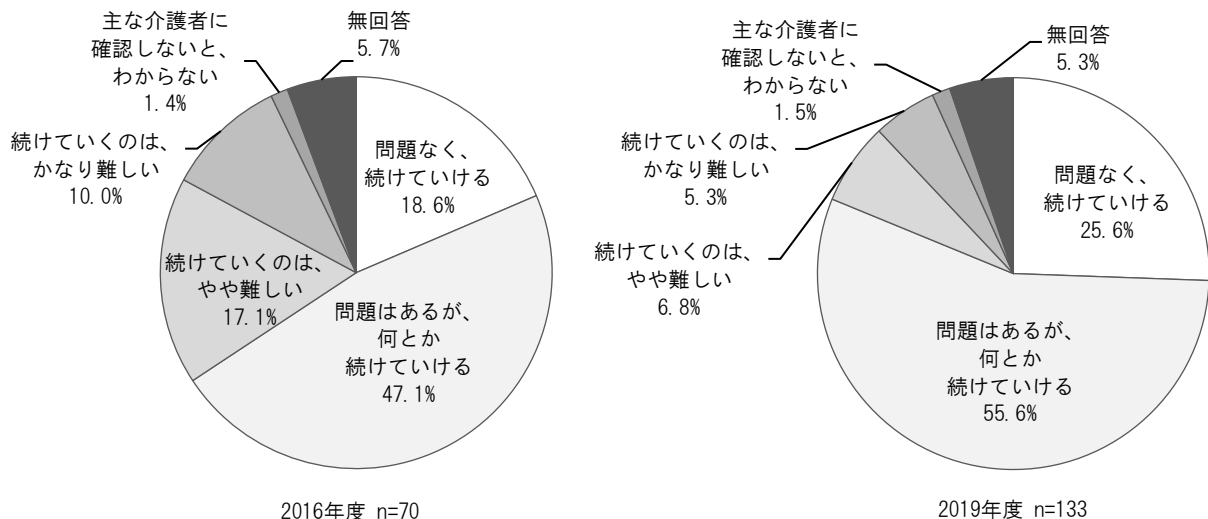
○仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援をみると、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」（23.3%）が最も高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」（14.3%）、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」（13.5%）の順となっています。

問 15-2 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援



○今後も働きながら介護を続けていけそうかをみると、「問題はあるが、何とか続けていける」（55.6%）が最も高く、次いで「問題なく、続けていける」（25.6%）、「続けていくのは、やや難しい」（6.8%）の順となっています。また、前回調査と比較すると、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を合わせた割合（12.1%）は前回調査（27.1%）よりも15.0^{ポイント}低くなっています。

問 15-3 今後も働きながら介護を続けていけそうか（経年比較）



5 介護離職の要因について

主な介護者の介護離職に関する要因を調べるために、(1) 主な介護者の介護環境、(2) 主な介護者の就労環境、(3) 要介護者の様態と介護実態、(4) 介護保険サービス等の利用状況等について介護離職者と継続就労者との差異を比較検討しました。

(1) 主な介護者を取り巻く介護環境等

① 介護者が行っている介護内容

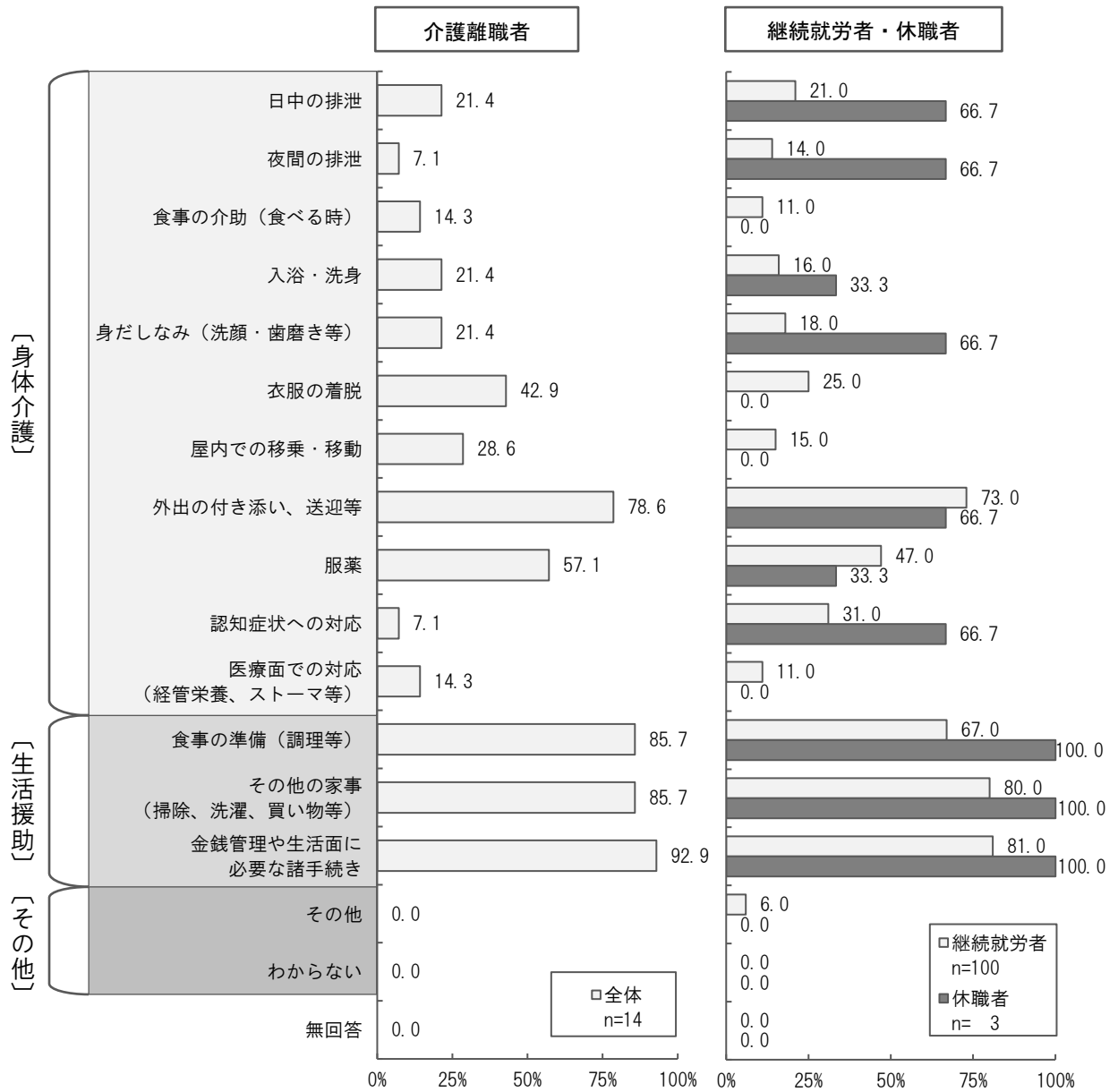
○主な介護者が行っている身体介護をみると、介護離職者は、「外出の付き添い、送迎等」(78.6%) が最も高く、次いで「服薬」(57.1%)、「衣服の着脱」(42.9%) の順となっています。

継続就労者は、「外出の付き添い、送迎等」(73.0%) が最も高く、次いで「服薬」(47.0%)、「認知症状への対応」(31.0%) の順となっています。

○生活援助は、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(介護離職者：92.9%、継続就労者：81.0%) がそれぞれ最も高くなっています。

○休職者の結果は以下のとおりです。

「介護離職者・継続就労者別」×「問6 主な介護者が行っている介護」



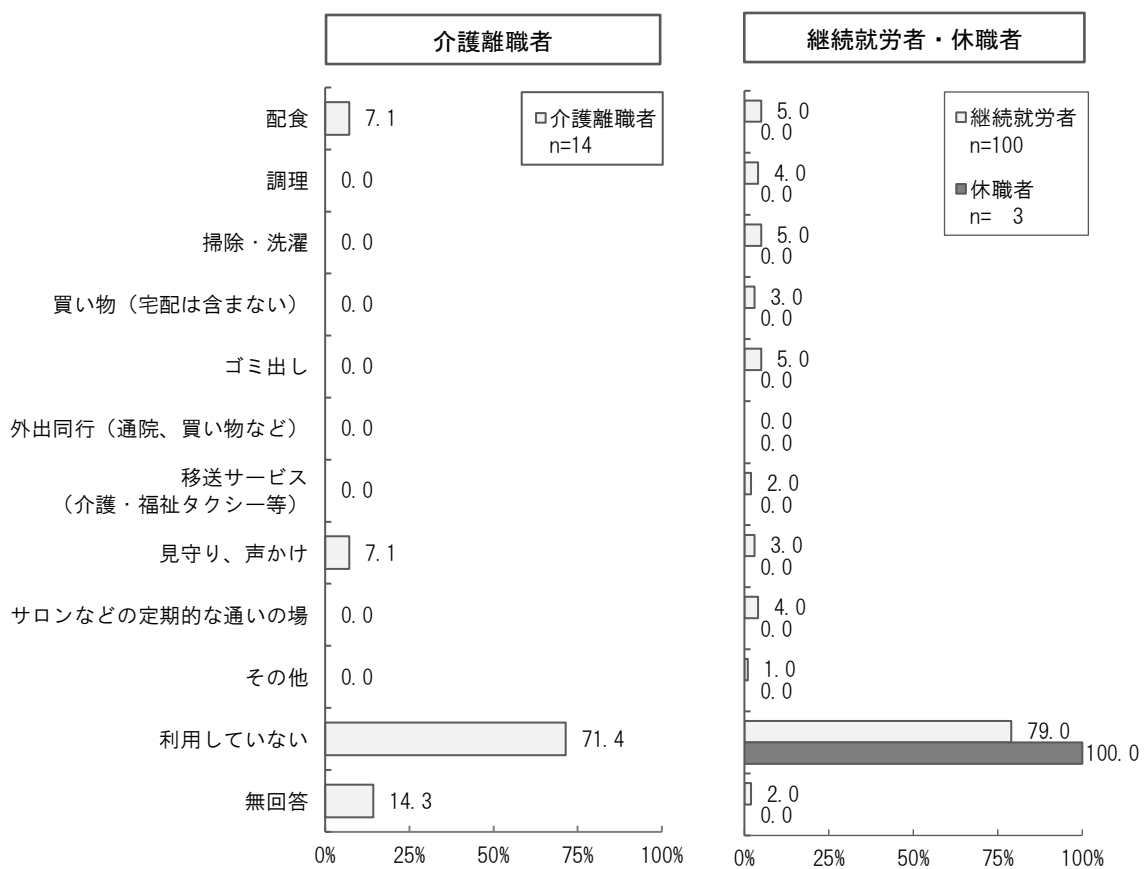
② 要介護者が利用している介護保険サービス以外の支援・サービス

○介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況をみると、介護離職者は、「利用していない」(71.4%)が最も高く、次いで「配食」「見守り、声かけ」(各7.1%)となっており、その他の項目は0.0%と利用割合は非常に低い状況です。

○継続就労者は、「利用していない」(79.0%)が最も高く、次いで「配食」「掃除・洗濯」「ゴミ出し」(各5.0%)、「調理」「サロンなどの定期的な通いの場」(各4.0%)の順となっており、利用割合は非常に低い状況です。

○休職者は「利用していない」が100.0%となっています。

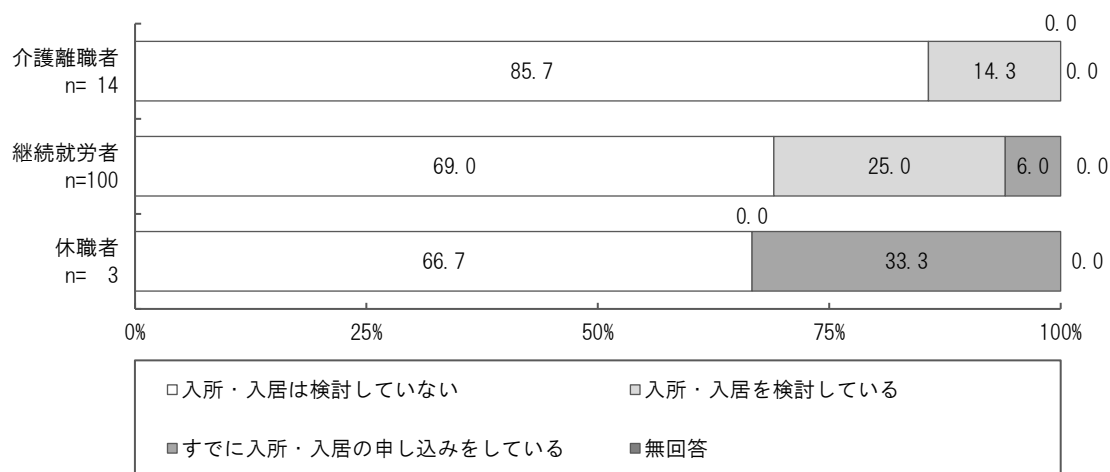
「介護離職者・継続就労者別」
×
「問9 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況」



③ 施設等への入所・入居の検討

- 施設等への入所・入居に関する検討状況をみると、介護離職者は、「入所・入居を検討している」が14.3%となっています。
- 継続就労者は、「入所・入居を検討している」(25.0%)と「すでに入所・入居の申し込みをしている」(6.0%)を合わせた31.0%が入所・入居予定または検討中となっています。
- 介護離職者は継続就労者に比べて、入所・入居予定または検討中の方が16.7^{ポイント}低くなっています。

「介護離職者・継続就労者・休職者別」×「問11 施設等への入所・入居を検討しているか」

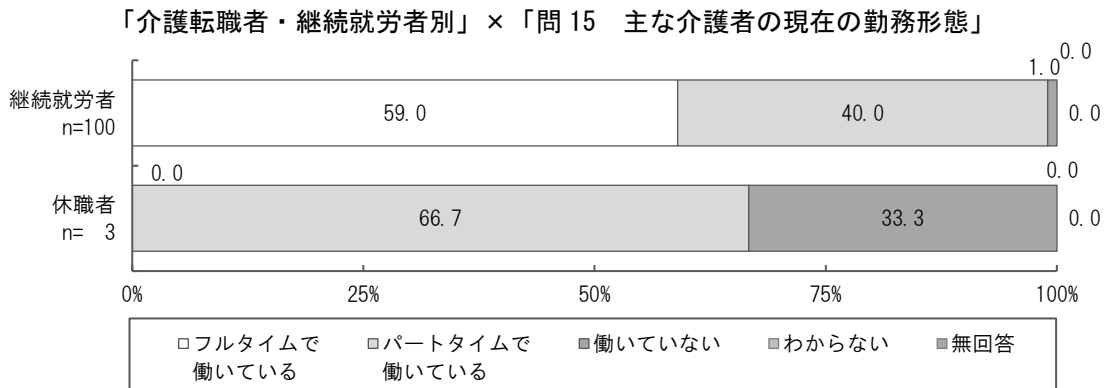


(2) 就業中の主な介護者に関する就労環境

ここでは、就労している主な介護者を介護のために転職をした介護転職者と継続就労者に細分化し、比較検討しました。

① 現在の勤務形態

○継続就労者は、「フルタイムで働いている」(59.0%)、「パートタイムで働いている」(40.0%)となっています。

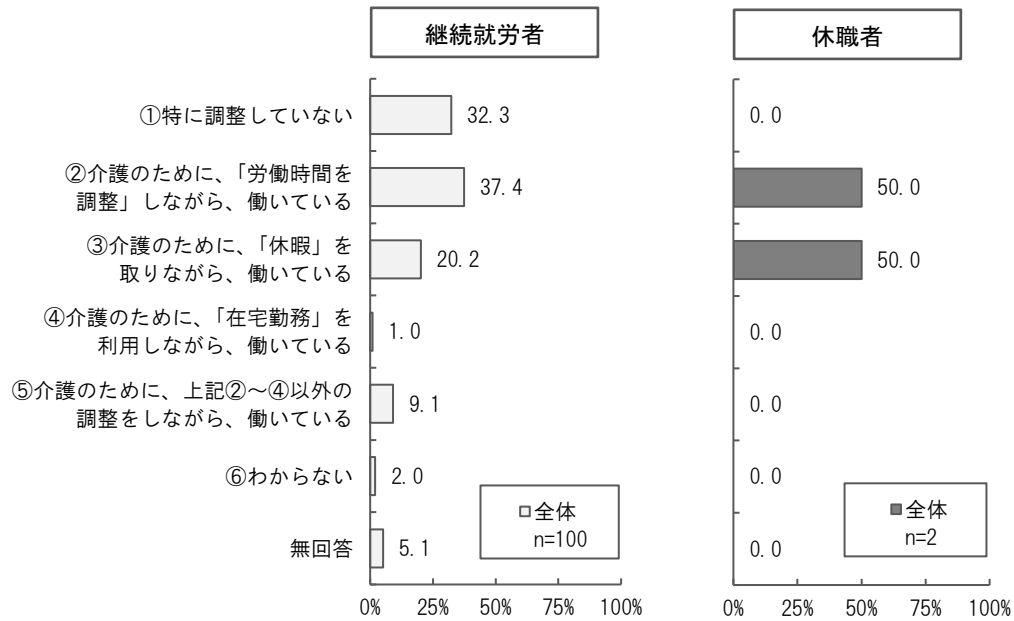


② 介護のための働き方調整等

○介護のために働き方を調整しているかをみると、継続就労者は、「介護のために、『労働時間を調整』しながら、働いている」(37.4%)が最も高く、次いで「特に調整していない」(32.3%)、「介護のために、『休暇』を取りながら、働いている」(20.2%)となっています。

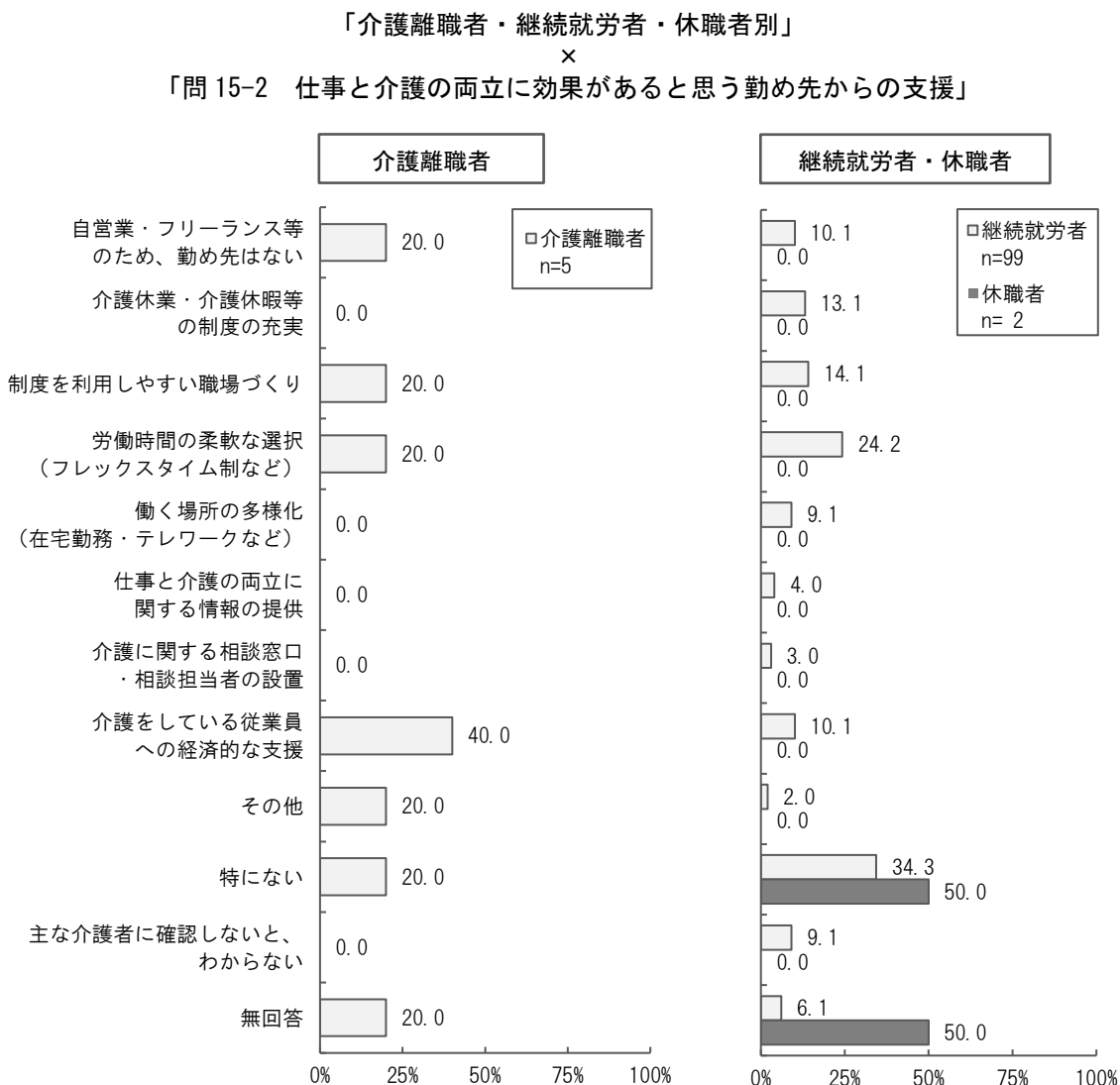
○休職者の結果は以下のとおりです。

「継続就労者・休職者別」×「問 15-1 働き方を調整しているか」



③ 仕事と介護の両立に効果的な勤め先の支援内容

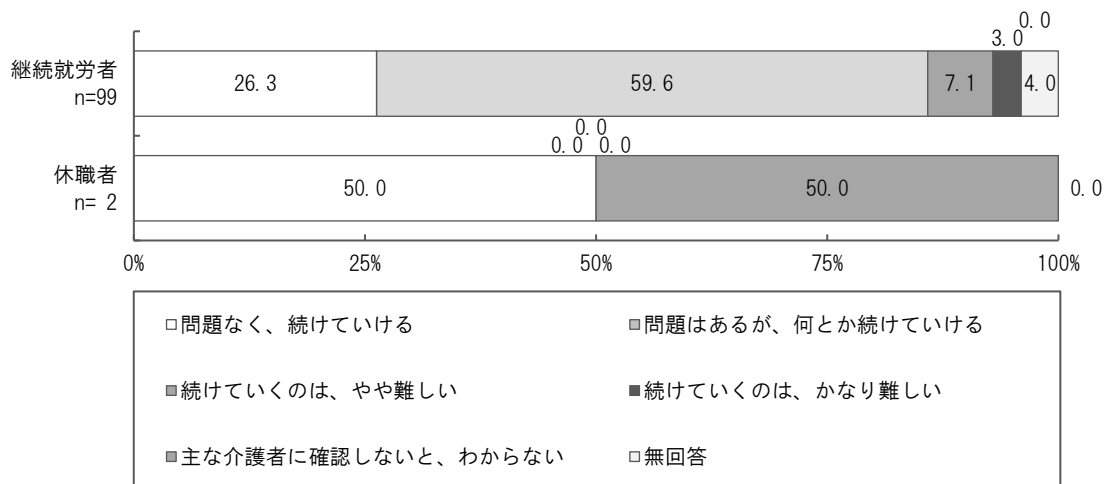
○仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援についてみると、継続就労者は、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」(24.2%) が最も高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」(14.1%)、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(13.1%)の順となっています。



④ 仕事と介護の両立に関して継続する意向

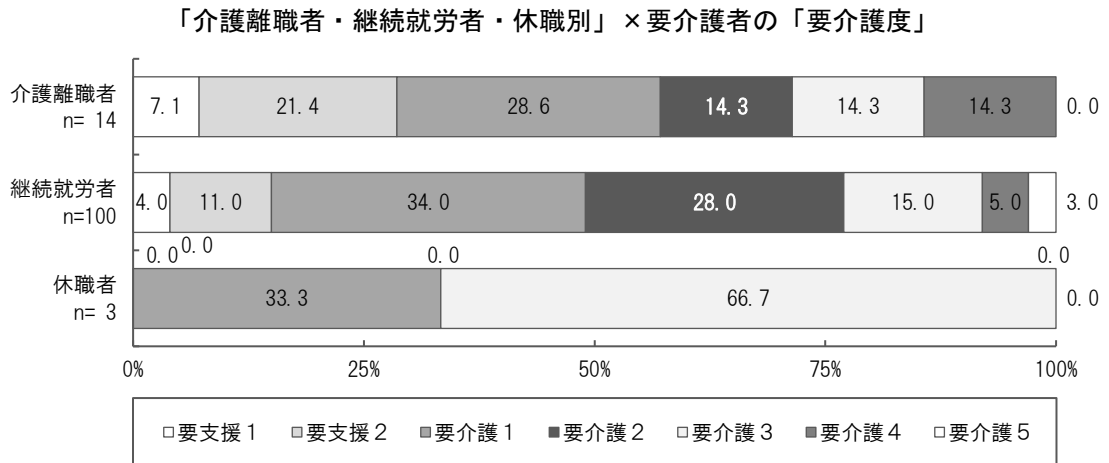
○今後の就労継続に関する意向をみると、継続就労者は、「問題はあるが、何とか続けている」(59.6%)が最も高く、次いで「問題なく、続けていける」(26.3%)の順となっています。一方、「続けていくのは、やや難しい」(7.1%)と「続けていくのは、かなり難しい」(3.0%)を合わせた10.1%の方が続けていくのが難しいと感じています。

「継続就労者・休職者別」×「問 15-3 今後も働きながら介護を続けていけそうか」



(3) 要介護者の様態と介護実態

- 主な介護者の就労状況別に、介護をしている要介護者の要介護度をみると、介護離職者では、「要介護1・2」(42.9%)、「要介護3以上」(28.6%)となっています。
- 継続就労者では、「要介護1・2」(62.0%)、「要介護3以上」(23.0%)となっています。
- 介護離職者の介護している要介護者が「要介護3」以上の割合は、継続就労者に比べて、5.6ポイント高くなっています。



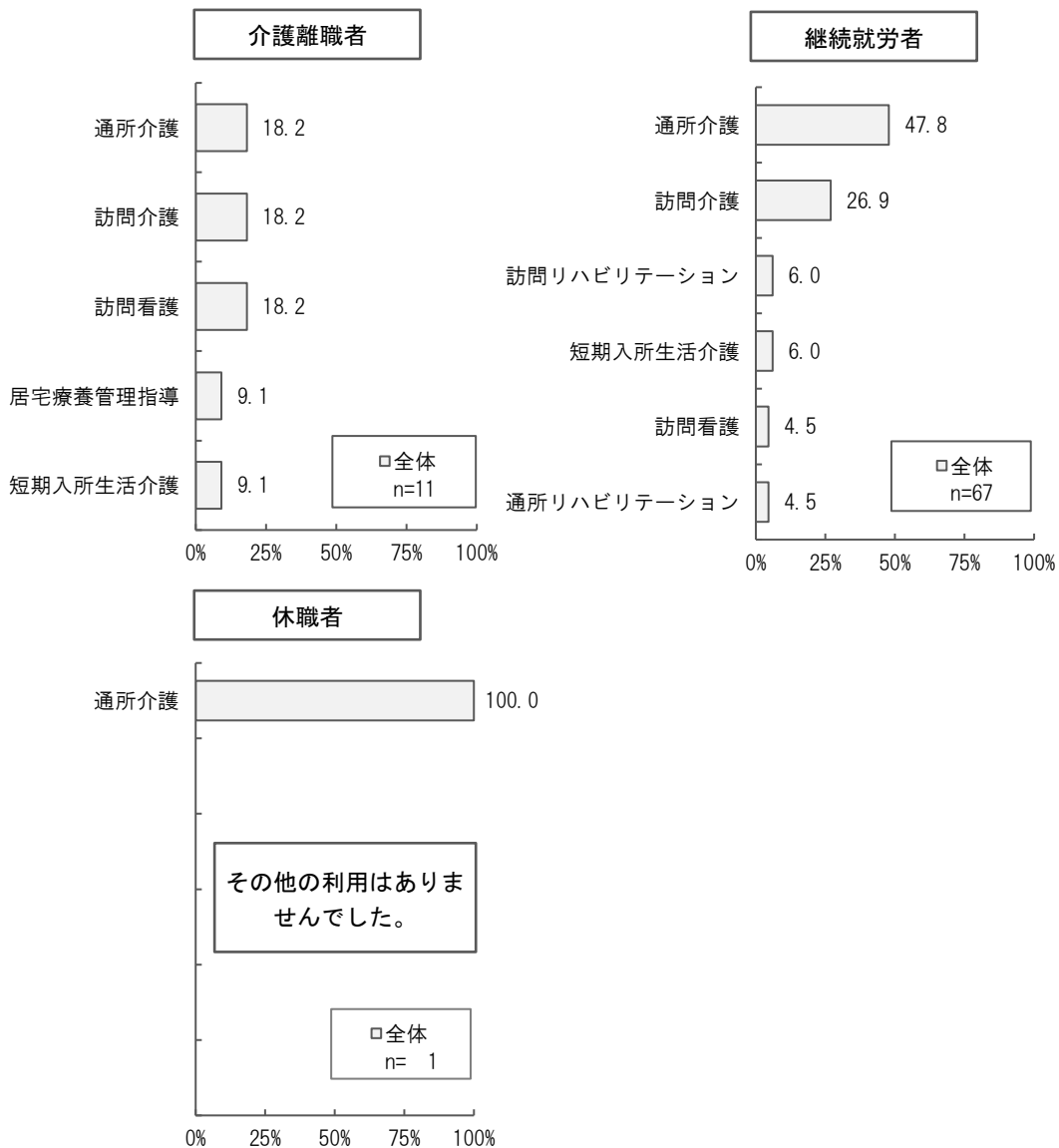
(4) 介護保険サービス等の利用状況

① 介護保険サービスの利用状況

○介護離職者が介護している場合の介護保険サービスの利用状況をみると、介護離職者では「通所介護」「訪問介護」「訪問看護」(各18.2%)が高くなっています。

○継続就労者では「通所介護」(47.8%)が最も高く、次いで「訪問介護」(26.9%)となっています。

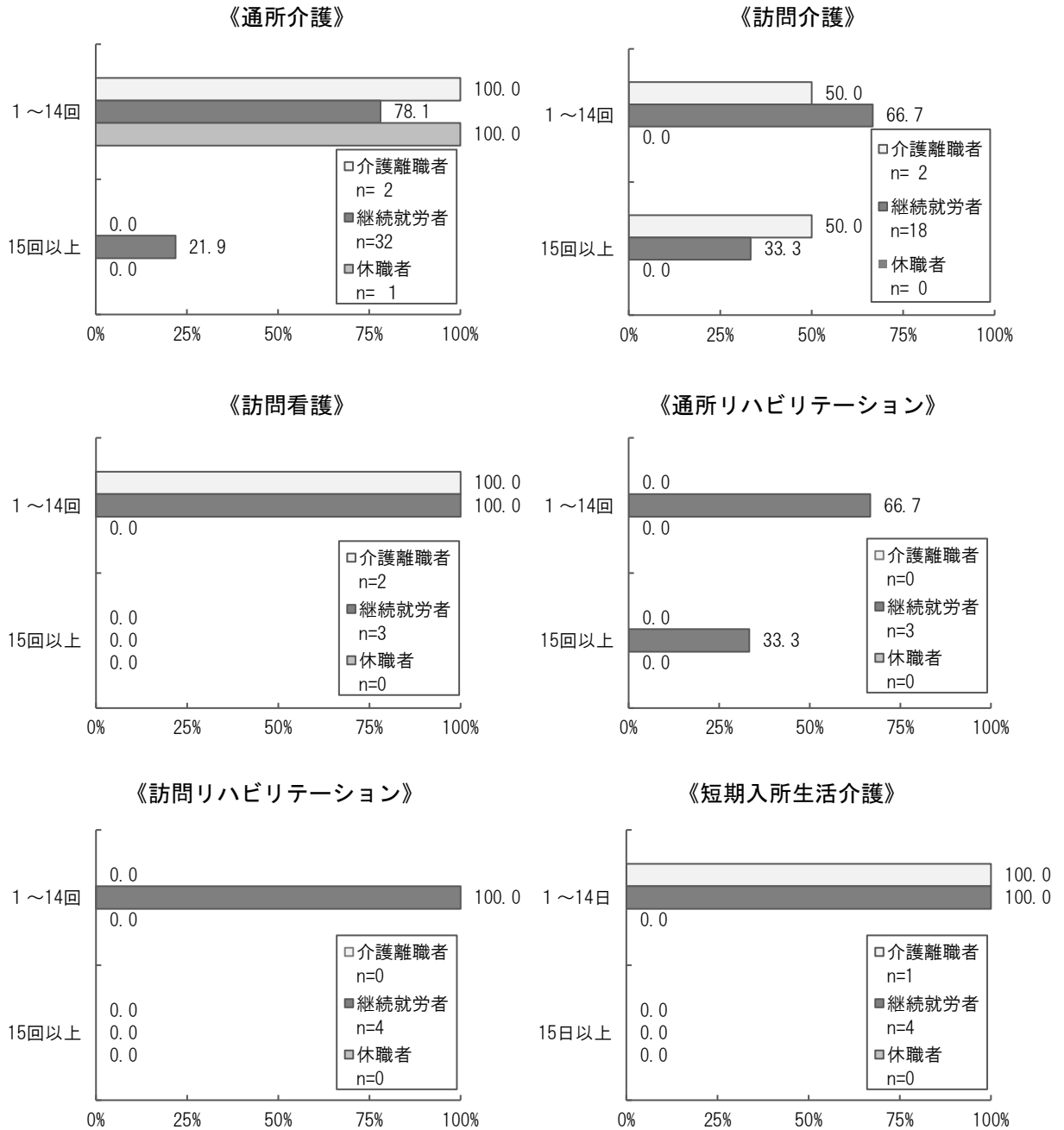
「介護離職者・継続就労者・休職者別」×「介護保険サービス利用状況(各上位6位)」



② 介護保険サービス別の実日数（利用割合の高いサービスのみ）

○利用割合の高い上位6位のサービスの利用実日数をみると、介護離職者・継続就労者ともにいずれのサービスも「1～14回（日）」の利用が高くなっています。

「介護離職者・継続就労者・休職者別」×要介護者の「サービス利用日数」（利用割合上位6位）



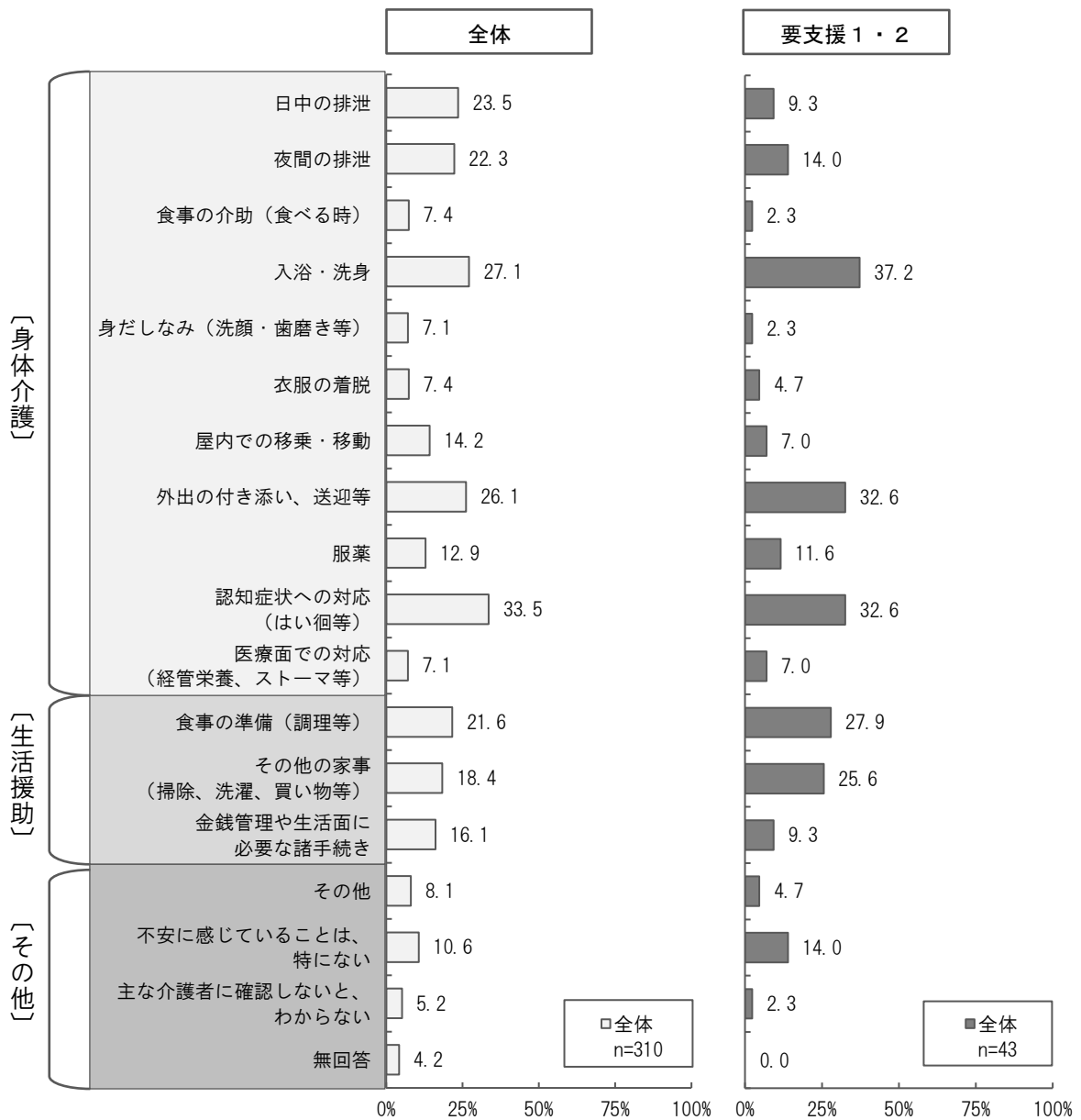
6 介護生活が続ける際の不安や困りごと

(1) 主な介護者が不安に感じる介護の内容

○主な介護者が不安に感じる介護内容をみると、全体の身体介護では、「認知症状への対応（はい徊等）」（33.5%）が最も高く、次いで「入浴・洗身」（27.1%）、「外出の付き添い、送迎等」（26.1%）の順となっています。また、要支援1・2では、「入浴・洗身」（37.2%）「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応（はい徊等）」（各32.6%）となっています。

○生活援助では、「食事の準備（調理等）」（全体：21.6%、要支援1・2：27.9%）となっています。

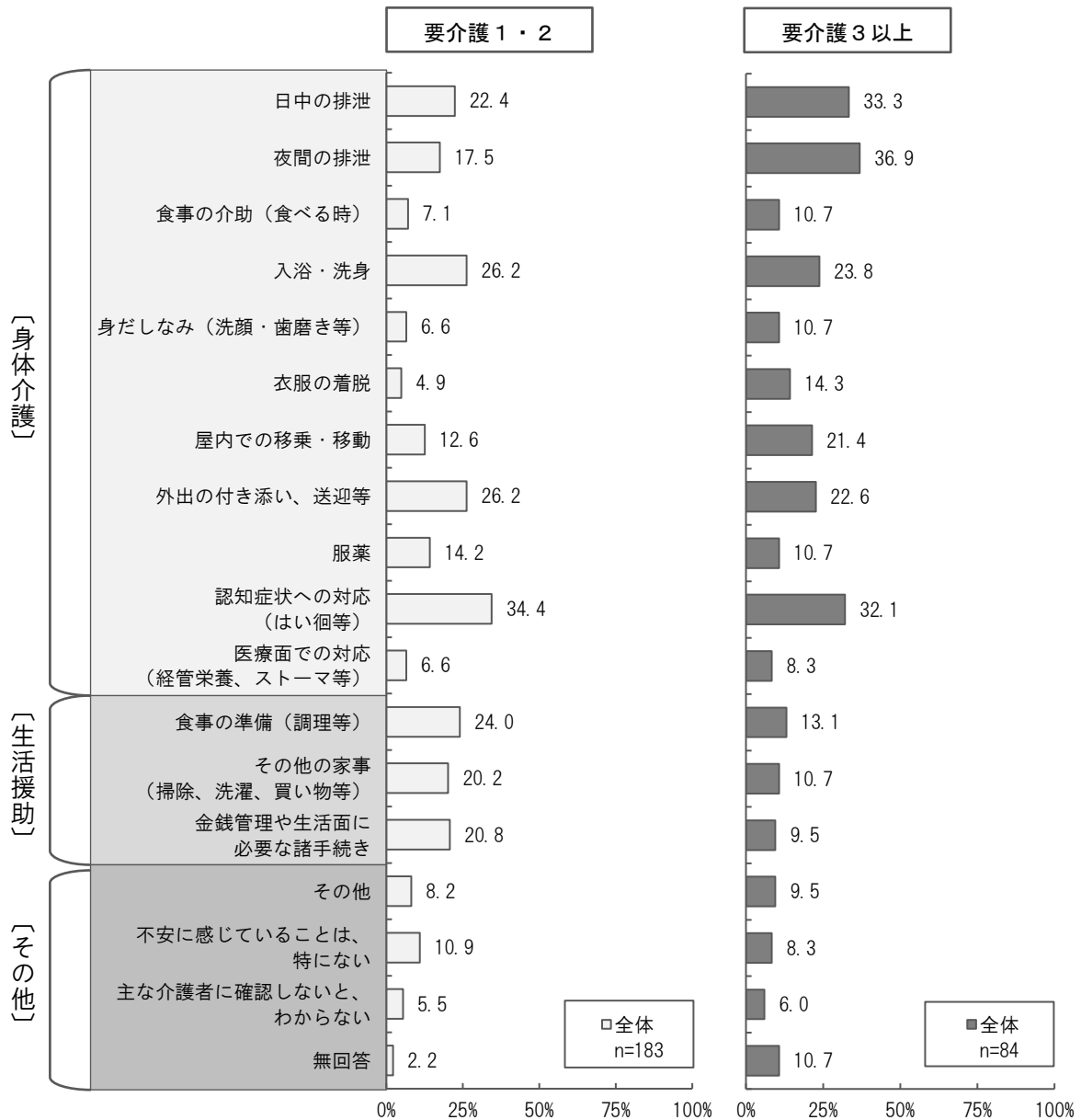
問 16 主な介護者が不安に感じる介護（×「要介護度別」）



○主な介護者が不安に感じる介護内容をみると、要介護1・2の身体介護では、「認知症状への対応（はい徊等）」（34.4%）が最も高く、次いで「入浴・洗身」「外出の付き添い、送迎等」（各26.2%）、「日中の排泄」（22.4%）の順となっています。また、要介護3以上は、「夜間の排泄」（36.9%）が最も高く、次いで「日中の排泄」（33.3%）、「認知症状への対応（はい徊等）」（32.1%）となっています。

○生活援助では、「食事の準備（調理等）」（要介護1・2：24.0%、要介護3以上：13.1%）となっています。

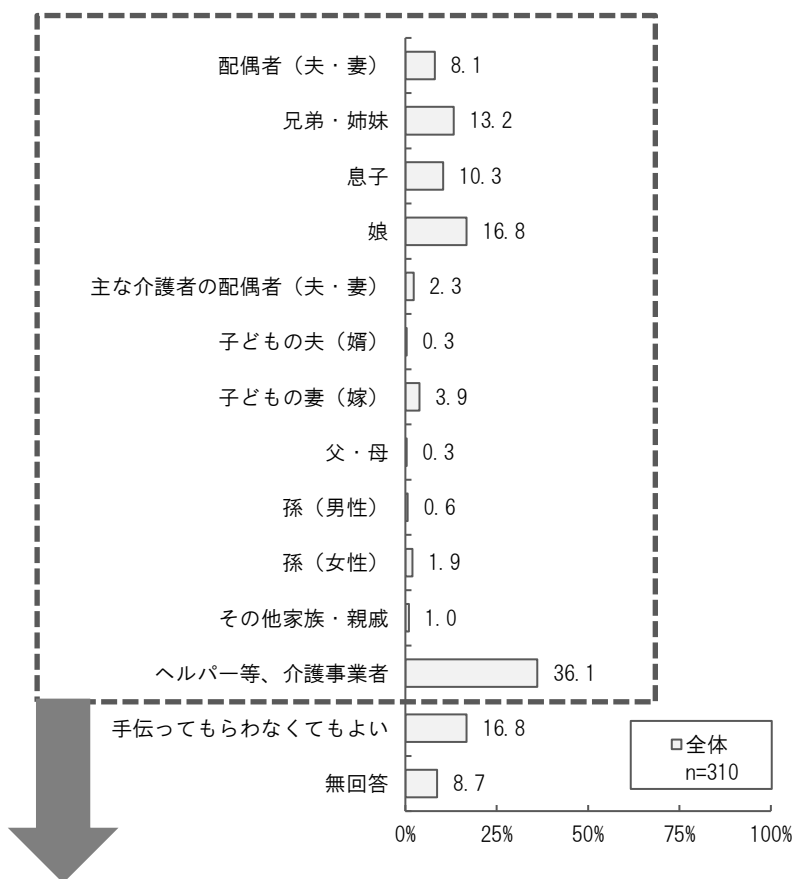
問 16 主な介護者が不安に感じる介護（×「要介護度別」）



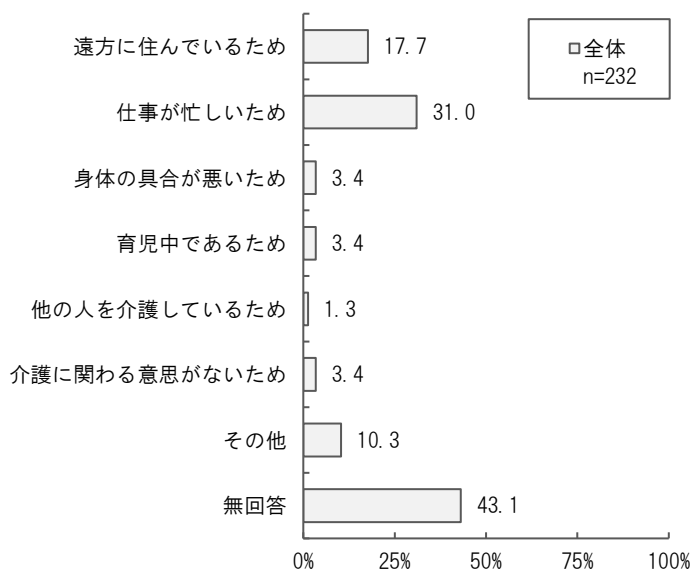
○主な介護者が負担軽減のために誰に手伝ってほしいかをみると、「ヘルパー等、介護事業者」(36.1%)が最も高く、次いで「娘」(16.8%)、「兄弟・姉妹」(13.2%)、「息子」(10.3%)の順となっています。一方、「手伝ってもらわなくてもよい」は16.8%となっています。

○手伝ってもらえない場合の理由をみると、「仕事が忙しいため」(31.0%)が最も高く、次いで「遠方に住んでいるため」(17.7%)となっています。

問 17 主な介護者が負担軽減のために誰に手伝ってほしいか



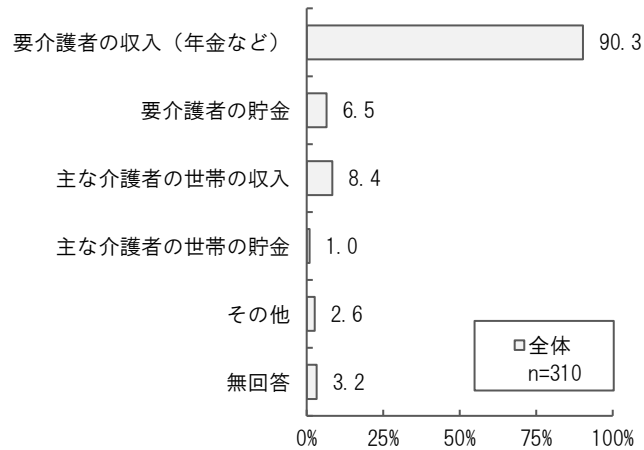
問 17-1 手伝ってもらえない場合の理由



(2) 介護費用の支払い元

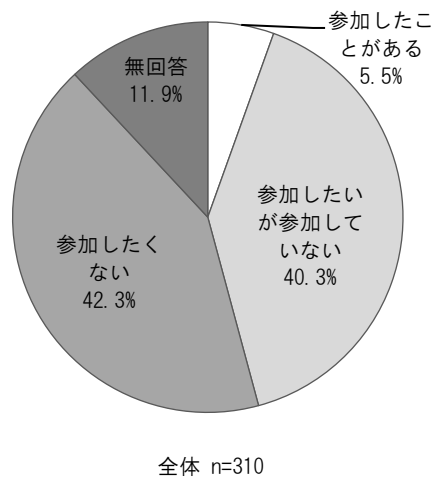
○介護費用の支払い元をみると、「要介護者の収入（年金など）」（90.3%）が最も高く、次いで「主な介護者の世帯の収入」（8.4%）、「要介護者の貯金」（6.5%）、「主な介護者の世帯の貯金」（1.0%）の順となっています。

問 18 介護費用の支払い元



○介護当事者等の集いへの参加の有無をみると、「参加したくない」（42.3%）が最も高く、次いで「参加したいが参加していない」（40.3%）、「参加したことがある」（5.5%）の順となっています。

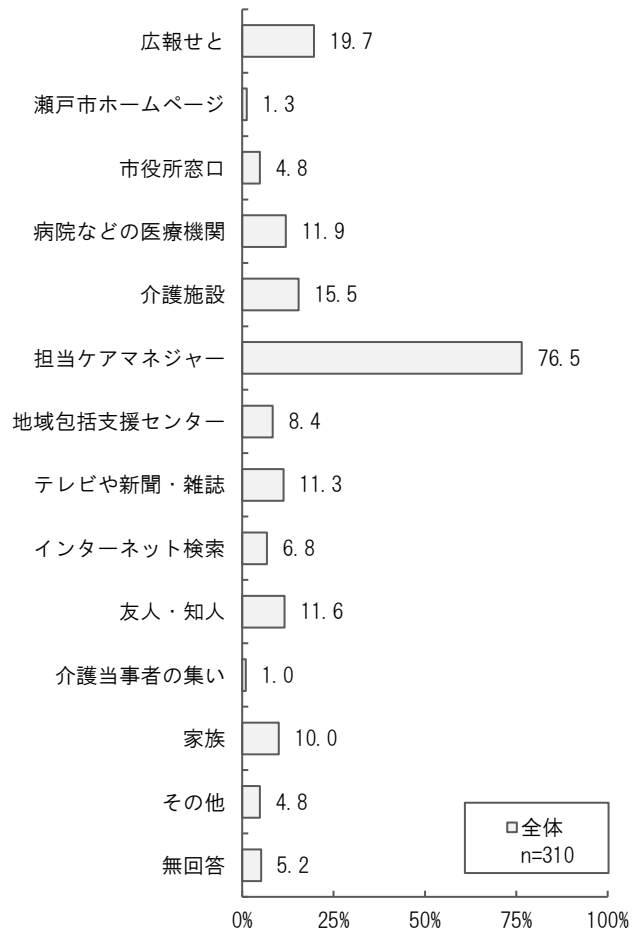
問 19 介護当事者等の集いへの参加の有無



(3) 介護に関する情報

○介護に関する情報の入手先をみると、「担当ケアマネジャー」(76.5%)が最も高く、次いで「広報せと」(19.7%)、「介護施設」(15.5%)の順となっています。

問 20 介護に関する情報の入手先

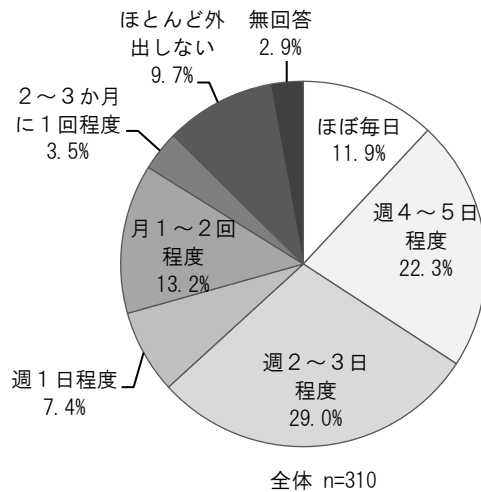


7 外出活動の状況

(1) 外出の頻度や目的

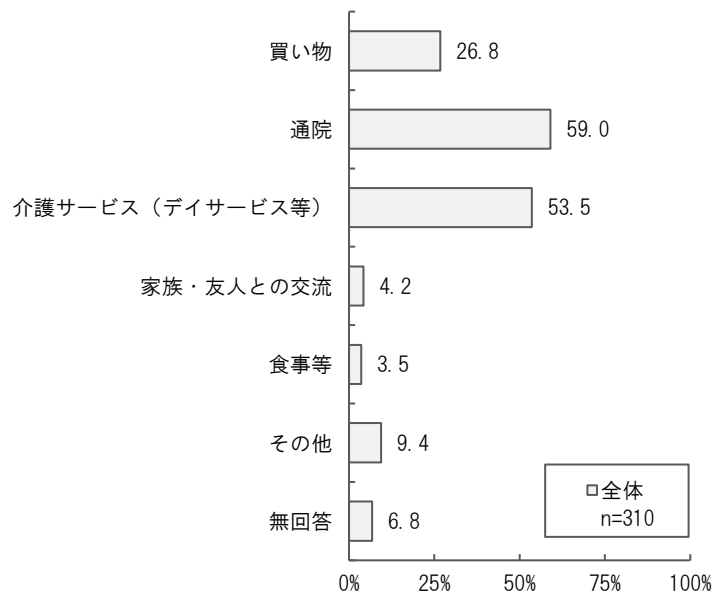
○ご本人の外出頻度をみると、「週2～3日程度」(29.0%)が最も高く、次いで「週4～5日程度」(22.3%)となっています。

問21 外出頻度



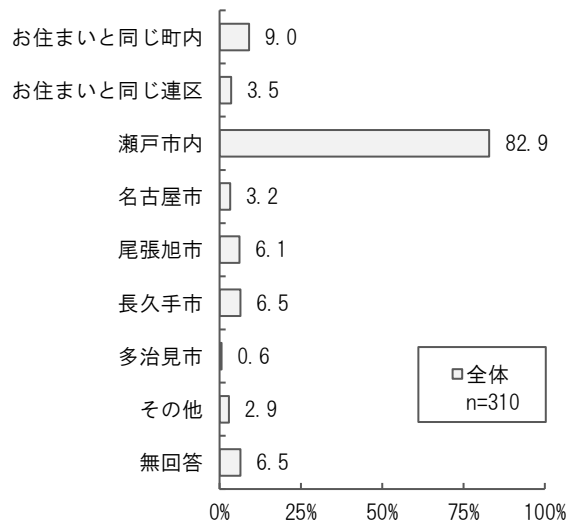
○外出の目的は、「通院」(59.0%)が最も高く、次いで「介護サービス(デイサービス等)」(53.5%)となっています。

問22 外出の目的 (上位2位まで)



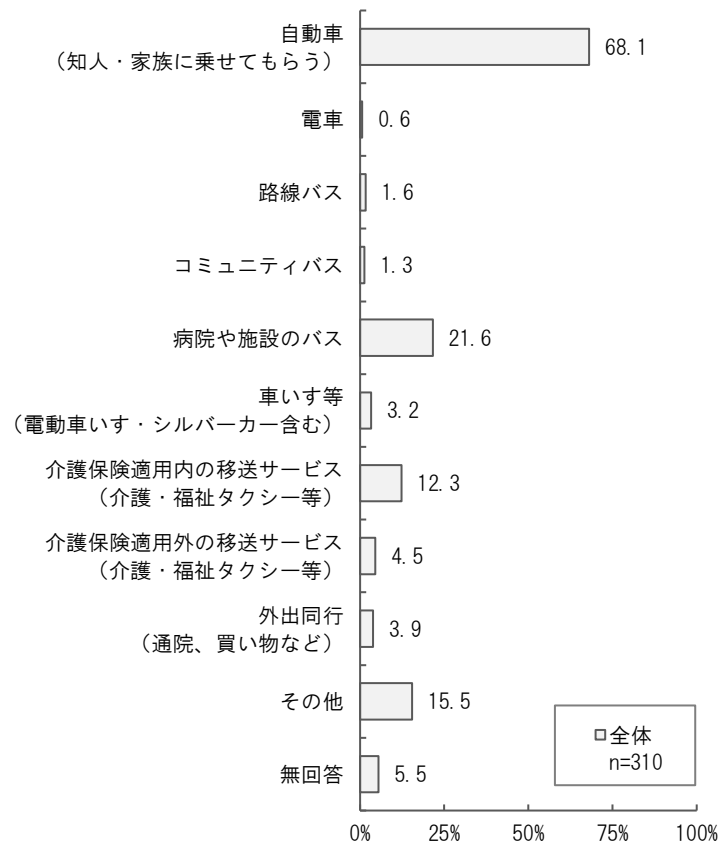
○外出先の地区をみると、「瀬戸市内」(82.9%)が最も高く、次いで「お住まいと同じ町内」(9.0%)となっています。

問 23 外出先の地区



○外出の手段は、「自動車(知人・家族に乗せてもらう)」(68.1%)が最も高く、次いで「病院や施設のバス」(21.6%)となっています。

問 24 外出の手段(上位2位まで)

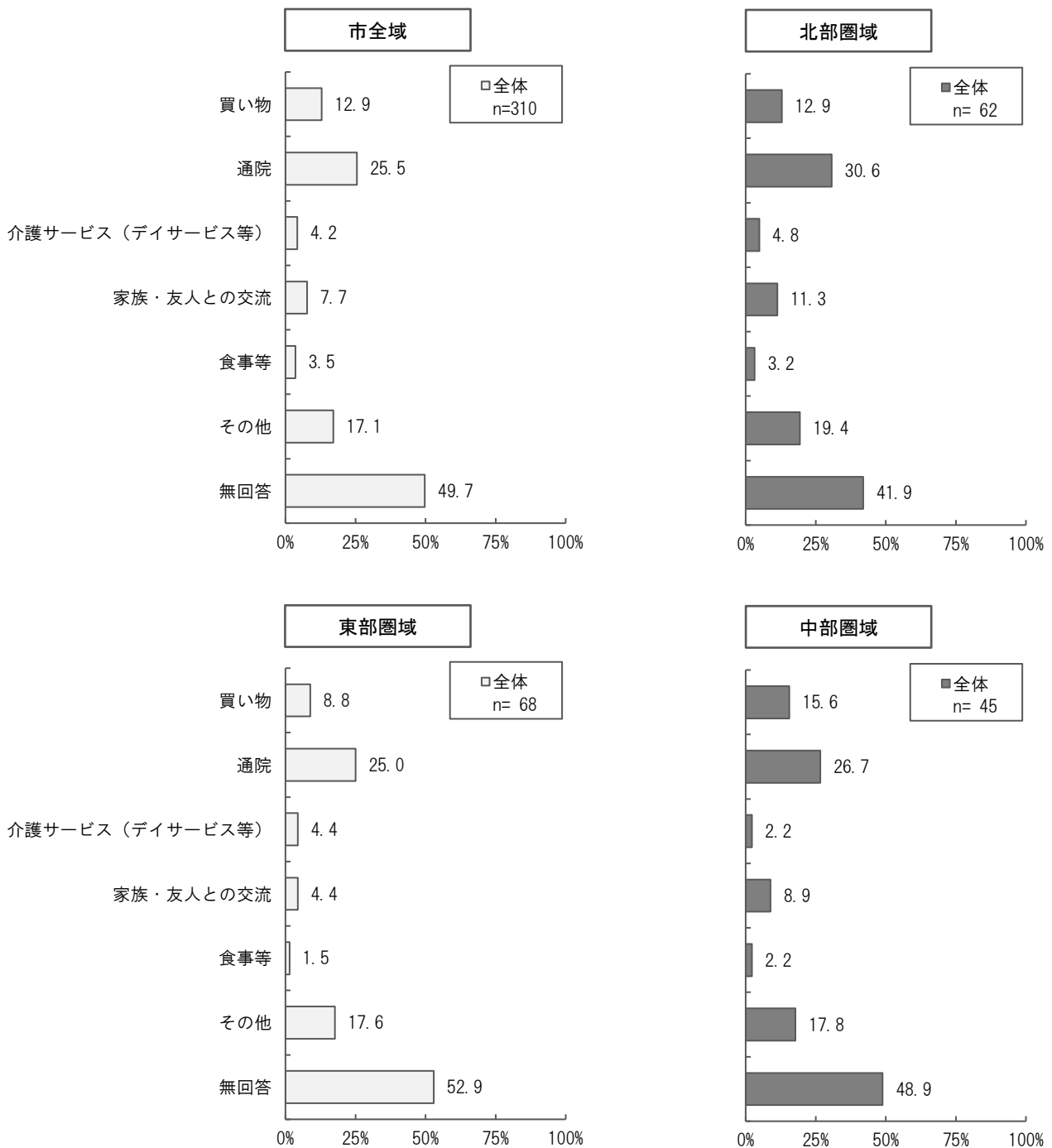


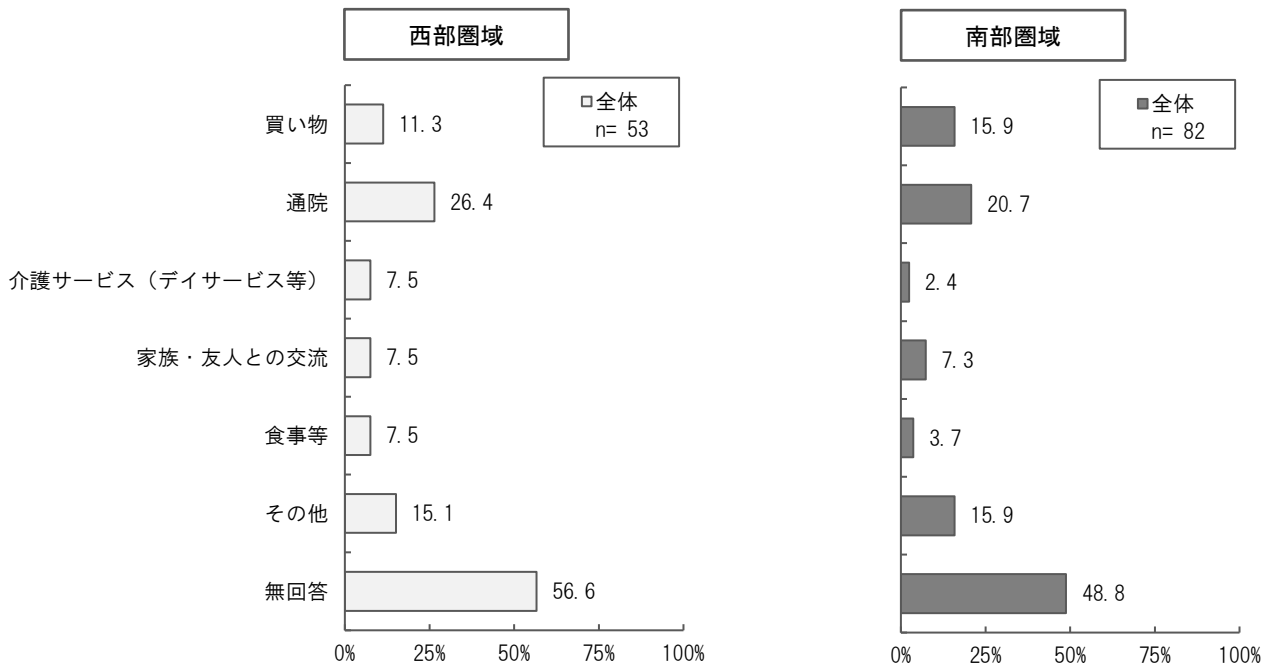
(2) 外出に際する困りごと

○外出に際しての困りごとをみると、「通院」(25.5%)が最も高く、次いで「買い物」(12.9%)となっています。

○圏域別にみても、いずれの圏域も「通院」の割合が最も高く、次いで「買い物」となっています。

問 25 外出に際しての困りごと (×「圏域別」)





作業目次

第3章 在宅介護実態調査結果	82
1 ご本人（要介護者）の状況について	82
(1) 要介護者の要介護度	82
(2) 要介護者の家族構成	82
(3) 家族・親族による介護の頻度	83
2 主な介護者等の状況（属性等）について	85
(1) 主な介護者の状況	85
(2) 主な介護者の介護実態	87
(3) 家族・親族が介護のために離職した状況	89
3 支援・サービス・訪問診療の利用状況やニーズについて	93
(1) 在宅生活を続けていくための必要な支援・サービス	93
(2) 介護保険サービスの利用状況	99
(3) 抱えている傷病と訪問診療の利用状況	101
4 主な介護者の就労状況について	102
(1) 主な介護者の勤務形態	102
(2) 継続就労者（フルタイム・パートタイム）の就労実態と意向	102
5 介護離職の要因について	104
(1) 主な介護者を取り巻く介護環境等	104
(2) 就業中の主な介護者に関する就労環境	108
(3) 要介護者の様態と介護実態	112
(4) 介護保険サービス等の利用状況	113
6 介護生活を続ける際の不安や困りごと	115
(1) 主な介護者が不安に感じる介護の内容	115
(2) 介護費用の支払い元	118
(3) 介護に関する情報	119
7 外出活動の状況	120
(1) 外出の頻度や目的	120
(2) 外出に際する困りごと	122